戰鬪雜誌

進め

進め一部一錢
第二年第七號大正十三年七月一日發行

第二年 七月號 第七號

本號一瞥

■新興政治勢力の統成へ……岩澤巖
■米國の排日と吾等の立場……高橋龜吉
■議會を中心として……河野密
■概念論者の迷妄……川田秀雄
■平凡な農民の斷想……畑俊夫
■直前に突進せよ……野田律太
■交通勞働者罷業の理論……今吉一雄
■農民組合の前途……湯原彦三
■小作爭議法廷戰の傾向……布施辰治
■農民と階級鬪爭……神道久三
■全國官製青年團に檄す……佐藤光敏
■二つの陣地……權藤誠子
■社會主義問答(二)……石川準十郎
■蓆旗を翳す人々(講談)……藤江俊夫
■監獄獨案內(三)……福田狂二

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

社告

（一）

「進め」に好意を有つて下さる同志諸君讀者諸兄からの深切な色々の御注意を、僕等は、實に嬉しく思つて居ります。御返事の積りで、社告を申し上げます

（二）

お仰せの通り、進め社は、これまで「くだらない内訌」を繰返して來ました。全く馬鹿なことです。面目次第もありませぬ。けれども、避けられない暗礁ならば、思ひ切ひてグングン乘つ切つて進むことも止むを得ぬことでせう。ゴタ／＼騒ぎも、將來永く、大きく繰返さねばならぬとの見越しがついた以上、早いうちに、小さいうちに、片づけようとの試みも、あながち無理ではありますまい。こんな意味が、若しも、進め社の、これまでの、「くだらない内訌」の中から摑み出して貰へるものなら、幸甚の至りです。

（三）

とはいへ、その理由原因が何であれ、ゴタ／＼は、あれは確かに醜態に相違ありません。殘された僕等で、一切の責任を負ふのは無論のことであります。

（四）

しかし、おかげで、ずいぶん清々した氣分にもなりました。つかねてゐた事務も、すら／＼と運んでゆけては居ります。けれども、諸君が、氣づかつて下さつたように、このために「進め」が、どんなに損をしてゐるかわかりません。

何しろ、あとに殘つた僕らは見らるゝ通り、殆ど、みな名も無い青年ばかりです。この事が雜誌を作つてゆく上に、どんなに、打撃となつてゐるかわかりません。ずいぶん、癪にさはる事も聞いてゐます。情けない仕打ちにも會つてゐます。實際、現在の「進め」には、編輯長とか主筆とか、乃至は、主幹とかと堂々と名乘つて出られるやうなものは恥かしながら一人もないのです。名乘つて名乘れぬこともありますまいが、餘り名乘り乘へのしさうな顔を有ち合はせて居らないのがうらみです。鼎の輕重を問はれたのも全く無理からぬことでありませう。

（五）

御注意までもなく、街頭の流言蜚言に依りますると、「進め」に對抗する目的で、雜誌が出るとか、出たとかいふもつぱらの取沙汰です。「進め」に對抗する目的の雜誌といふと、いづれ、ブルジョアの機關雜誌だと察しられます。同じ無産階級に立ち共同目的のために惡戰苦闘してゐる味方同志から、仇呼ばはりをされる覺わは露さらないからであります。が、萬一、太陽が西から出るやうなことがあつて同志の雜誌が、どこかに、そんな對抗の目的なんぞで出て居ると致しましても、それは「進め」の進む途とは何の關りもないことです。そんな事で、つまらぬ途草を食ふつもりではありません。

（六）

何は兎もあれ、一生懸命になつて「進め」をいゝものにすることが、僕等の仕事であります。今日では、「進め」は、殆んど、全國に行きわたつて居ります。

此の事を考へただけでも、「進め」をぜひといゝ雜誌にしたいと念じて居ります。むしろ、しなければならぬ使命をしよい込んで居るのです。僕等の腕には重過ぎる使命だから知れませんけれども、逃避することの出來ぬ、正しいものと信じて居ります。だから、より良き「進め」を作るために奮闘します。結果の如何は、願はくは、諸君と一緒に之を觀やうではありませんか

（七）

「進め」に好意を有つて下さる同志諸君。どうぞ、その好意を持ち續けて下さい。そして貴下方の、色々な立場から、色々の意味での援助を、何卒、惜まれぬように。

好意や援助を躊躇させるような水を注す奴がないとは限りますまい。その場合、貴下方も困ることでせう。しかし、何卒、出來得るならかかる、情實は突破して下さるように。僕等・今進め社の陣容を新にするに當り顧みて、今更に、自らの無力を感じ、謹んで、同志諸君の教導を仰ぎたいのであります。

大正十三年七月一日

「進め」編輯同人

山崎今朝彌　久良晋二　神道久三　坂元　石川準十郎　春田正　岩澤巖　小牧近江　大路龍一郎　佐藤光敏　福田狂二

▲パンフレットの發行が遲れた七月中旬迄には必ず發行する

演説會と座談會

進め社はさきに演説會と座談會の事を發表して、各五六回其の責任を果しました。

向今後も續けて演説會や座談會を開きたいと思ひます。このため辯士や講師の都合は出來るだけ本社で都合しますから地方の諸君が會場の都合をつけて下さい。只明日がカチ合つたりしては困りますから、演説會に座談會に御盡力下さる諸君は前以つて一應打合せの勞を願いたい。

進め社は出來ない事は止むを得ませんが、お引受けした以上確實に與すつもりです。

進め東京座談會

東京で「進め」座談會を開きます。時局問題で議論の花も咲くだらうし、純學理の諸問題も、討論の中心となるだらうし、座談の間に、何ものか、まとまつたものを摑んで行かうといふのが此の會の趣意であります。だから、勿論、思想團体といふような、一定會則を有つてものでもなければ、研究會と看板を掲げる程の大けさなものでもありません。しかし、集つて來る人に眞面目な人が多ければずいぶん、立派な、有意義な集りともなり得ませう。七月から、毎月一回といふことで、始めて行きます。場所は左記の家。集會日は、その都度、通知しますから、住所を明記したハガキを下さい。（岩澤巖宛）

東京市赤阪區榎坂町四番地
東京進め同人

長野事件寄附金
募集締切七月十五日迄に延期

◆社會主義
◆社會問題
◆勞働問題
◆婦人問題

圖書雜誌
パンフレット
リーフレット
販賣店

神戸市湊川到二丁目十六番地
支店　湊川公園前百貨店廿一號

上西書店

上西一郎

（目錄要二錢）

大正十三年七月　戰闘・進め・雜誌　第二年　第七號

新興政治勢力の統成へ

■無産者一個人の力は、社會的には、何の力でもない。〇〇的スピリトも、徹底の理論も、一個人のものである間は、社會的には、大海の一泡沫に價せぬ。社會の成員は、かゝる力では左右はおろか、微動だもしない。社會的勢力としては全く無力なのだ。

■されど、その個人が、統成されて、一度び團體となると、無産者は、立派な社會的勢力の把握者である。勞働組合の如きが正にそれだ。個々の組合の同合化によつて、益々、威力を加へるのみである。

■今日、我國のプロレタリヤは、既に、無産者個々の力を經濟的に結合し、拔くべからざる威力を社會的に築き上げた、のみならず、その擴充のために、不斷の努力を續けて居る。言つてみれば、勞働組合は、プロレタリヤの一面の要求　即ち、生産者としての經濟的要求を達成せしむる機關であつて、この機關の有つ社會的勢力の威力の前に、ブルジョアの經濟力は切り崩されつゝある。

■所が、プロレタリヤ全體の頭上には、此の經濟的壓迫と共に、更になほ、ブルジョアの政治的支配が落下しつゝある。こゝにプロレタリヤの他の一面の要求、即ち、被支配者としての政治的要求が、必然に涌き上り、既成政治勢力への抗爭が起つて來なければならないのである。

■而して、この政治抗爭の機關は、勞働組合と相並び、支持し合つて、更に一層の社會的勢力を有たねばならぬことは、相手の頗る強大なるに對照しただけでもわかり切つた話である。にも拘らず現在の我國のプロレタリヤは、何等、政治抗爭の機關を有たない。從つて、何等の威力をも、政治勢力として表示し得ない。全く、日本のプロレタリヤは、政治的要求の段になると、赤手空拳なのである

■されば、ブルジョア專制の支配下にあつて、滿身、壓制の矢をあびながら、之を受け止める楯すらもない有樣だ。政治否定の『言葉』は誰れもが繰かへす。しかし、政治否定の『事實』が、どこにあつたか。壓制の泥足の下で、如何に巧みな皮肉を吐いた所で、相手の脛には、蚊はどの痛痒も與へ得ぬを如何にせんやだ。

■あるひは、社會主義政策を讃するものも無いではない。されど、それを、現實政治上に躍らしむべき機關がない以上、如何に、深謀の經綸と雖も、一個人の意見といふに過ぎずして何等の威力ともならぬ。脚下のの皮肉と何の選ぶところもない。而し、かへつて、泥棒のような既成政黨の徒の袖にすがつて、僅かにを息を吐く始末とは何といふみぢめさであらう。

■既成政黨は、次第に階級的に分化し行く傾向を示して居る。既成政治勢力は、内に、分裂と動搖の分子を孕んで居る。これに對して、新興政治勢力は、プロレタリヤの政治集團による、一大統成を待つてゐる。その時期は既に滿ちて居る。日本のプロレタリヤは、速かに現在の政治的屈辱を脱すべきだ。そして、そのためには、非常に大きな努力が拂はれてい・害である。（岩澤巖）

時評

政治運動と政治研究會

『思ふに日本の政治は、今日此の機會に於いて根本的に建て直しをやらなければならない。それには、民衆自身が政治に參加する事である。國民の大多數を占める無產階級が、それ自身の立場から政治を批判し、國民全體の幸福を眼目こして、〇〇〇〇〇〇〇る法律制度の改廢に努力する事である。そして、さうするためには、一般民衆の自覺の上に、無產階級の利益こ幸福こを伸張し、一方組合運動こ相俟つて、これが目的の達成に助力すべき一の民衆的政黨乃至無產政黨を樹する。こがさし當つての必要であるこ考へる』こ叫んで、その一の準備階級こして政治研究會が創設された。そして六月二十八日東京芝協調會館に於いて創立大會を催す事になつてゐる。

保守的で組織なき大衆の多い日本の現狀にあつては、時機に適した組織こ云はねばならぬ。たしかにこの程度の政治運動が必要であり、この程度以上は現在不可能の問題であるかも知れない。又たしかに、この程度の運動が今後一層經濟運動乃至は××〇〇〇〇〇の進路を打開し得る事も想像される。又、特に農村の諸君達が、無產階級こ名のつく政黨が無いためか、一方では組合運動に參加して階級鬪爭の火蓋を切り乍ら、他方では憲政會あたりのブルジョア黨派の運動に熱中するこいふ危險をも避け得やう。又、まだ組織されない無自覺な大衆を政治的に組織し、又は經濟的にも組織を增大さす間接の効果を持つてゐやう。或は又將來更に進んだ政黨の組織を誘導する原因こも段階こもならう。

私等は、政治研究會、或は其の程度の政黨の組織にはむしろ以上の範圍内で期待を持つてゐる。それ以上の問題は別問題のやうに考へる。

政治研究會が勞働黨になるか否、分化して社會民主黨になるか又は共產黨になるか否かは別問題だ。むしろ、今からそんな期待を持つてかゝる事は將來の失望を大にする原因かも知れない。或は否かも知れない。

それには二重の原因がある。一は日本の經濟的地位から押して日本のブルジョア階級が反動的に益々なるに從つて 無產政黨は合法的範圍内に止まれなくなつて、何等か、形を變へて前進し得るであらうこ云ふ事こ、他は兎角社會的運動は其のもの自身の内容よりも、外部に表れた事が逆に内容を決定する場合が多いこ云ふ事だ。例へば國家社會主義は方便であつても、永久にそれ自身國家社會主義から脫し得ない。

しかし政治研究會が現在最も緊要の組織である事には變りはない。思ふに日本の勞働階級は過去一二年の間特に震災以後多事多端であつた。方向轉換こ云ひ、大衆化こ云ひ、政治鬪爭化こ云ひ途に多事多端であつた。

勞資戰の激甚

勞働階級は、政治的鬪爭にも多事多端なら、經濟的鬪爭には更に多事多端で、しかも更に切實な問題だ。

最近勞資戰の激增は、從來の組合運動史上に見ざる所である。總同盟關西同盟會の下に決行されたストライキの數は、昨年一箇年を通じて六十數件であつたが今年は一月より六月中旬迄に既に八十六件に上り、而も其の八割乃至九割は勞働者側の勝利に歸してゐる。これは一例に過ぎないが、其他關東同盟會又は其の他の組合並に農民組合に於ても同樣に勞資戰は例年に比して非常に多いのである。如何に經濟的鬪爭が激甚を極めてゐるかは充分に判明出來る事である。

ストライキよりストライキへ鬪爭より鬪爭へ、勝利より勝利へ。此の傾向は何を示すのであるか。勿論近來組合並に組合員が非常に增加して特に大阪に於ての市電・阪神・南海・其他の交通從業員組合の組織を見、名實共に威力を具へて來た事こ勞働大衆自身が其の歷史的使命に自覺して階級意識に醒めて來た事こ、尚又多くの鬪士諸君が階級的訓練を、充分積んで來た事を物語つてゐる。

又他面では日本の資本主義自身が資本主義生產方法の内部に潜む必然の矛盾のために一歩一歩崩壞の淵に望みつゝあるのだ。即ち、國際的には國際資本主義の利害衝突から避け難き經濟上の痛挾を受け國內的には生產過剩のため不景氣の襲來を受けて一歩一歩經濟的に破綻しつゝある。この現象は事業の縮少、小工場の閉鎖、勞働者の馘首、失業者の激增、勞働條件の低下こなつて現に表れつゝある。

この資本主義の矛盾、この資本主義〇〇〇は又必然的に彼れ自身が吾々勞働者に〇〇〇〇を要求してゐるのだ。

ストライキ激增の原因は、〇〇〇〇〇の內部から〇れて來るのだ。吾々勞働階級は〇〇〇〇〇〇〇が要求するまゝに〇〇〇すればいゝ。

そしてこの鬪爭も、資本主義自身が、即ち歷史的に『勞働者お前が勝つのだ』こ要求するまゝに勞資の鬪爭にも勝てばいゝのだ。又終局に於いても矢張り資本主義自身が『勞働者お前は〇〇この世から〇〇のだ』こ要求するまゝに勞働階級は資本主義を〇〇〇いゝのだ。

六月二十一日　（神道久三）

共同利害を摘撥せよ

排日と日米無産階級

「〇〇主義者（即ちマルクス社會主義者）は次の二點に於て他の勞働階級政黨と區別せられる。第一には、相異る國の無産階級の國家的闘爭に於ては彼等はその國籍の如何に關はらず全無産階級の利害を摘發し且之を極力主張する。第二には勞働階級のブルジョアに對する闘爭が經なければならぬ發達の種々なる段階に於て彼等は、何時でもそして何處でもそのプロレタリア運動全體の利害を表現する」とは、マルクス エンゲルスの共著に於ける金言である。

處が歐洲戰爭に際して獨逸社會民主黨の大多數は愛國主義に妥協し獨逸の開戰に贊成した。そして後年所謂共産黨事ロシャのマルクス社會主義者のためにオポーチユニスト（御都合主義者又は日和見主義者）と呼ばるゝ重大な原因の一つを殘したのであつた。

吾人は思ふ。今日の日米兩國間に於ける排日排米の闘爭は、日米兩國間の社會主義者の試練期である。我々は熱心に且根氣よく各國無産階級の共同利害を摘發主張すべきである」排日の根本原因は〇〇〇〇〇に在り。排日を〇〇は先づ〇〇〇〇〇〇〇〇のもの呪へ。今米國に於て我々の同胞を苦しめて居る處のものは、今日世界各國に於て無産階級をして貧困のどん底に苦しめて居ると同一の作用である。〇〇〇つである」と

實に〇〇〇〇〇〇そは人間をして只一個の商品たらしめた張本人であり、同時に動もすれば國際戰爭〇〇〇て徒らに〇〇〇〇〇〇して〇〇の中に相〇〇せしむる〇〇〇〇〇を有する〇者である。（石川準十郎）

秘密結社KKK

相似た日米反動團体

有名な米國の秘密結社クー、クラックス、クランが日本の帝國ホテル劍舞事件や横濱領事脅迫事件等に憤慨して愈々活動を初めたと云ふ。このクー、クラックス、クランと云ふのは云はゞ米國の反動團體であつて屢々社會主義者を街上から自動車で拉致して行つて山中で虐殺したり、黒人を捕へてかの慘虐極まる私刑に處したりする團體である。丁度日本に於て震災時に主義者を〇〇し、朝鮮人を〇〇したと同じ様なもので、米國は世界無類の資本主義國家だけあつてこれがこの種の團體に依つて白晝公然と行はれて居るのである。東朝紙に依ると現在の會員は約三四百萬で首領はイヴァンス博士ださうだが、日本で云はゞ上杉愼吉博士と云ふ様な所であらう。

我々は排日、排米の兩國運動に於て二つの動かすべからざる事實を見る。即ち一には排日排米の排外運動を行はる者は共に兩國共に頑迷なる保守主義者殊に資本主義的國家主義者であると云ふ事實である。そして二にはこの排外運動に反對して居る者は兩國共に進歩主義者殊に社會主義者であると云ふ事實である。

排日法案を通過した者はメリケンの小いが平君達であつたのだ日本人を恐るべき私刑に處せんとしてゐる者はメリケンの大行社であるのだ。東西軌を同じうすることゝ之より明かなるものあたか。マルクスの法則は此處に於ても東西に貫通して正しいことを見せて居る。

地域的思想團体

普選實施後の準備

普選案は所謂護憲内閣に依りて冬の議會に提出せられることゝ大體疑ひない様だ。

そこで我々はこれに對して今から如何なる準備をして置くべきかゞ問題になる。勿論その中には政黨組織に迄行くであらうが政黨を組織するに於ても全國各地にまとまつた力素を必要とする。その意味で吾人は先づ地域的思想團體を主張するものである。

吾人の見る所に依れば、日本には勿論産業勞働組合も發達するであらうが、それと並行して若しくはそれ以上に、地域的思想團體の發達する可能性がある様に思はれる。その科學的論證は元より出來る譯のものではないが、山河の地勢や國民性や産業狀態から考へてどうもその様な氣がする。

そして一體この地域的思想團體なるものは選擧的に活躍し易いと同時に、いざと云ふ時に武器を把つて立つに都合の宜い性質のものである。

蓋し〇〇〇〇〇には、河上博士等の解釋する如く、經濟〇〇と政治〇〇とがあつて、經濟〇〇は政治〇〇を必須前提として來るものである。而してこの舞台の政治〇〇と云ふのは『政權〇取』のことである。そこで思ふに、日本に於てはこの政權〇取の〇〇〇〇が（一）英國流に議會を通じて來るか（二）フランスのサンヂカリズム流に勞働組合の總同盟罷工に依つて來るか（三）それともロシア流に機會に依る純然たる〇〇方法に依つて來るか、或は又このいづれか二つの結合した形態で來るかは元より論定され得るものではないが、地域的思想團體の方法は如上の三つの中の二つに對して最も有動な力素形態であるは否まれない。

（石川準十郎）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

米國の排日と我等の立場

高橋龜吉

　米國の排日移民法が愈々七月一日から實施せらるゝと決るや我が對米反感熱は沸騰し、遂に米國品の不買同盟運動、劍舞につて帝國ホテルの舞踏會の解散などゝ云ふ直接行動や、悲憤慷慨、臥薪嘗膽の國民大會やが各所に開かれ出した。無論我々もさうした感情に反對のわけではない。併し乍ら、一體吾々はあの米國の排日移民法を如何に理解してゐるのか、而して如何なる對策を採らうと云ふのか。

　我が所謂國論とかによるとあの移民法は一等國としての日本の面目玉を足蹴にかけたものである。ケシカラヌ。と云ふ單なる體面論にあるらしい。何となれば假りにあの移民法が日本の希望するが如く修正されたとしても、實質的には日本人は一年二百人内外しか移民することが出來ず、それすらも所謂紳士協約によつて日本政府自ら之れを禁止するつもりであるのだからである。

　若しも我が國人が、さうした意味に於て、及びさうした目的を以て、此際對米對策を講ぜんとしてゐるのなら、私は大なる失望を感ずる一人である。蓋しあの排日移民法の實施は、さうした表面的な體面論以上に深い意味を持つてゐると思ふからである。云ふ意味は、あの排日移民法の實施は、(一)表面ばかり紛飾することに腐心してゐる我が外交政策の幻滅であり而してそれは、(二)資本主義世界の平和的協調と云ふ假面の行詰りを意味するからである。

　日本の現狀から云へば、米國の排日移民問題に就いて、最も痛烈な交渉を有する點は我が過剩人口問題の解決が行詰まると云ふ點にある。蓋し、米國が先づ大ビラに排日移民法を設ければ其他の諸國が之に次ぐは分かり切つたことであるからだ。此の見地からは一九〇八年紳士協約を實行した時に已に日本は大事を逸したのである。現に、此米國の排日實行以來、加奈陀、濠州其他に於て日本人排斥は熾烈となつたではないか。然るに、我外交官は日本にとり此最も肝心な實質的讓歩をしながら表面上は紳士協約によつて日本の面目を救ひ得たと考へてゐたのだ。彼等は外交とは辭令上の遊戯のことだと考へてゐるらしい。否日本人全體が實質はそちのけで辭令の使ひ方一つで國の重大問題が解決せられると思つてゐるらしい。兎に角、お目出度い我外交官や國民は、爾來約二十年近く辭令上の紛飾で一等國民氣取でゐたのだ。處が、米國議會の一決で、然り如何にも無造作な一決で、一等國民の夢をメチャ／＼にされてしまつた。之迄、實質の空な辭令上の紛飾に生てゐた我が外交官の狼狽を見よ。彼等は今、名實ともに一等國の仲間からのけものにされてゐることを自覺したのだ。而して、今啼時ながら我國民は「一等國」の仲間入り」とは又は「文明人の仲間入り」とは文化の對等の持主ともを指す名稱ではなくて經濟的優越を競ふ一團の國家的階級を指すものなることを無理やりに敎へられたのである。白色人資本主義國民の今日の贅澤な生活程度は宛かも資本家の贅澤が勞働者を搾取して始めて出來ると同じく有色人種を搾取する以外に維持の方法はないのだ而して資本家が勞働者の擡頭を恐れる如く彼等はその被搾取人種の擡頭を恐れる。彼等を依然被搾取の位地に置かうとする。如何に勞働者の文化や品性が向上しようが、彼等が勞働者である限り資本家の仲間入りは出來ない　我々、有色人種が世界の被搾人取種である限り、對等の位地に立つて世界の富源の割前を請求することは出來ない。今、米國の排日移民法は最も露骨に之を我國民に敎へたのだ。一寸小才が利き資本家の犬になり得るので資本家から引上げられ、それで資本家の仲間に入れられた積もりの職工長格が、宴會の席か何かで、資本家に「オイ君」と仲間扱ひをしかけたら一勞働者のクセに下がれ」と衆人環視の中でコキおろされたのにさもよく似てゐる。

　斯樣な場面をマザ／＼と見せつけられては、勞資の協調の絕望なることを誰しも意識するに違ひない。それと同じく、世界の搾取國歐米濠諸國と被搾取國（有色人國）との協調は、資本主義國家が如何に平和だ人道だ正義だと云つても到底夢想に過ぎないことを覺らざるを得ない如何に鈍感なる我國民と雖もだ

　此處に於て、體面論や米貨排斥は何等の目的を達する所以でない。資本家の壓迫から勞働者が脫する道は一に勞働者の團結するにある如く、日本今日の壓迫及び行詰まりを脫する道は同じ被搾取國民たる有色人種の大同團結以外にはない。日本人一個では如何に悲憤慷慨しても殘念ながら太刀打は出來ない。相手は米國のみではなく英國も濠洲もすべて同じ穴の狢であるからだ。日本がこれ迄歐米人の手先になり、彼等とグルになつて有色人色を劣等國民扱ひし、彼等を搾取せんとしてゐた事實は

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

宛かも職工長格が資本家氣取で眞の彼等の仲間たる勞働者をイヂメてゐたのと少しも變る處はない。併し早呑込をして誤解してはいけない。然らば白人種に宣戰するのかと。白人種の中にも搾取に苦るしんでゐる勞働階級がゐる。已にそれ等被搾取階級が主權者となつてゐる露國もある。彼等は何れも世界の被搾取國民と共同して、搾取階級の存在を地上から一掃せんとしてゐる。吾々は彼等と握手して我日本人我が兄弟たる其他の有色人種の解放に努力する外に、此際、米國の排日に對抗する建設的な、且積極的な方法はないのだ。目先の感情の滿足のために一時の快をやる暴擧や、軍國資本主義的氣分の悲憤慷慨やと云ふ安價な而して尻の穴の小さい盲動で事成ると考へてはならない。自分の位地をハッキリ自覺して世界的運動を起す大眼を開かねばならぬ。（終）

勞働黨內閣の一教訓

眞の勞働內閣の出現は近い

在バンクバー　高井光一郎

英國勞働黨を既成政黨として見る時私は何んらの不平も不滿も起らない。むしろ進步した政黨だと思ふ。しかし彼等が自らを眞の勞働階級の代辯者であると唱へてゐるのを見る時私は千度も否と絶叫せざるを得ないのである。純然たるブルジョアの既成政黨と選ぶところなしと斷言して憚らない。彼等は貧民階級の代辯者としては自らの出發點を誤つてゐる貧富兩階級間に必然的に起るところの階級鬪爭を認めてゐないことが勞働黨としての根本的誤りだ。これを否定してをればこそ眞の權力を取つたのではなくして資本主義の店番に頼まれたにすぎないのであるだから彼等には眞の無產階級の利害を代表することが出來ない。二三日前の倫敦電報は「下院は炭坑國有案を二六四對一六八票で否決し政府黨は票決前に大討論があつた時主義として案に贊成するも同案の支持はせない」と云つてゐたと傳へてゐた。これが炭坑國有と資本課税を標榜して立つたところの現政府黨の態度であるかと思へば實に啞然たらざるを得ない。勿論私は現政府黨が自由保守兩黨を向ふにまはして如何に同案の支持をしてみたところで勝てゐたらうとは思はない。けれども自分たちの年來の主義主張を放棄してまで現在の位地を保とうとしてゐる同黨の見苦しい態度を非難せざるを得ないのである。自分たちの主義と主張の爲に忠實に戰ふべきだ。だが彼等には前にも云つたやうな理由で眞劍に戰ふことが出來ないのである。つまり彼等には確固たる主義政綱がない、日和見主義者たちに眞の無產者たちの戰ひは斷じて出來ない。

しかしながら、私たちは現政府の存在の意義を見のがしてはならない。各屬領や植民地は勞働黨政府が出來ても眞の自由を得ることの出來ないことを知つたし英國の勞働者階級は日和見主義者たちの所謂「進化的方法」で自分たちの解放が得られないことを知つた。現政府が存在してゐてもナショナリスチックな感情は殖ねても毫も萬國無產階級が熱望してゐる眞のインタナショナリズムの理想の道へ一步を踏出すことの出來ないことを知つた。斯くして現在の英國勞働者たちは日和見主義者たちの云ふ所謂「平和な手段」では何んにも出來ないと云ふ事實の教育を受けてゐるのである。この意味に於て現政府の存在は有意義であり一日でも現政府の壽命が長びけば長びくだけ、夫れだけ多くの勞働者たちの目を開かせるのである。

そこで私たちは同黨が如何なる提案をしても夫れを支持はしても反對してはいけない。たとへば勞働黨がミリタリズムの全廢を唱へるとするこれに對して自分たちは同黨の意見と根本的に違ふのだから彼等の爲すことには全然反對だと云ふ態度を取ることは結果に於て軍國主義を承認することになるのであるのだから私たちは同黨の如何なる提唱でも支持して若し彼等に誤りがあり妥協があるのなら遠慮なしに夫れを摘發して天下に公表することだ。

幸にも世界各國の眞に階級的に目覺めた勞働者たちは政治運動にも組合運動にもこの態度を取つてゐるのである。最近獨佛兩國に於ける總選擧の結果はこの種勞働者たちの大勝利を示してゐるし英國勞働黨型の政黨か特にドイツでは小氣味が良いほどの大敗をしてゐるのである。これは勞働者たちが事實の教育を受けた結果であると私は確信してゐる此の前の英國總選擧ではこの派の候補者たちは落選したけれども彼等は票數から云へば其の前の選擧の時の殆んど倍もとつてゐたのである。今勞働黨政府の下に於て「事實の教育」を受けつゝある英國勞働者たちが次の總選擧に於てこの派の人たち眞の自分たちの解放のために身命を賭しても戰ふ決心で奮鬪努力してゐる人たちを議會に送ることを自分は信じて疑はない。（終）

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

政治運動

議會を中心として

河野密

【一】政治行動の辯

この頃の喧しい論題の一つは、何と言つても、勞働組合と政治行動の問題であらう。一口に政治行動と言つても範圍が漠然としてゐるが、この際主たる對象となるのは議會である。議會が政治行動の總てゞないにしても議會を除いては政治行動の舞臺は著しく局限せられて了ふ。從つて勞働組合と政治行動と云ふのは、要するに、勞働組合の議會行動如何と云ふことである。勞働組合と議會行動――これはなか〳〵重大な問題と言はねばならぬ。

然らば最近になつて何故この問題が、かく鬧しく論議せられるに至つたのか？

人は云ふ、それは英吉利に勞働黨內閣の出現を見た結果であると。まことに、英吉利勞働黨內閣の出現以來、それに關する文獻は雨後の筍のやうに簇出する始末で、見樣に依つては日本の思想界の娼婦型を遺憾なく發揮したものと言へるが、それは一部思想家とか名のつくわらい階級のことであつて、勞働組合がこれを問題にするのはしかく輕佻な氣持からではない。

どこの國でも、勞働組合が一定の發展を遂げると當然に政治行動如何の問題にぶッつかる。言はゞ新しい解放の戰術を必要とするに至るのだ。

日本の勞働組合も正にこゝまで登つて來たのではあるまいか。これを英吉利の勞働組合運動史に比較して見るならば、今までは生存鬪爭の時代であつた。勿論既にこの時代を脫したと云ふのではないが、少くとも第二の段階へ進むべき素地ができかゝつたのではあるまいか。こゝに勞働組合と政治行動が問題となつて來た所以があると言へる。

【二】議會政策と議會利用

議會を對象として勞働組合の政治行動を考へる場合に、二つの主張がある。曰く議會政策と議會利用と。

議會政策とは、議會の有する立法上の力を通じて、合法的の手段に依つて勞働階級の利害を漸次的に伸張しやうとするのである。之に反して議會利用とは議會を通じて行ふ立法上の諸政策には大した期待をおくものではない。それは唯、一日も早く〇〇を〇〇る爲にか、或は他の行動を行ふ機會の熟するまでの手段として、議會行動を考慮するに外ならない。換言すれば、一は議會そのものを尙信頼するに反して、他は全く議會をブルヂオアジーの機關なりと認めるのである、こゝに兩者の根本的の差異があると言へやう。

一が一度實際に足を踏み入れるならば、この理論上の明確な區別も、そのまゝには適用されない。レーニンの言ふが如く、徹頭徹尾議會に於ける破壞的行動をとるならばいざ知らず、同じ議會の門を潜つて、同じやうな態度を採る以上、何れが何れとも定め難い場合が多いであらう。見樣に依つては鷺と烏と言ひくるめることもできるし、烏を鷺だと主張することもできる。

そこで兩者の、絶對に混同することのできない區別の燒點を求めなければならない。

私の考へる所に依ると、兩者の決定的な區別は、プロレタリアートの獨裁を豫想するや否やにある。

議會政策と言ひ議會利用と言ひ目前の戰術としては同一の道程を步むことができるが、究局に於てプロレタリアートの獨裁を不可避なりや否やを考へる點に於て兩者は遂に袂を分たなければならない。

【三】議會に多數を占むること

次に考へて見なければならないことは、議會に多數を占めることが所謂プロレタリアートの獨裁であるかどうか、またそれがプロレタリアートの獨裁にうつり行く可能性のあるものかどうかと云ふことである。

これはなか〳〵困難な問題と言はなければならない。

一體プロレタリアートの獨裁には二重の意味があるやうに思はれる。第一は無產階級に依る單なる〇〇の〇握と云ふことでなしに、一切の生產手段を一擧にしてか或は漸次的にか公有にする力を具有することであり、第二は公有にせられた生產手段を運用管理して、〇〇〇〇の經濟組織を〇〇〇る力を有つことである。

果して議會がこの任務にたへることができるであらうか。

議會に多數を占めると云ふことそれ自身では、一切の生產手段の公有を可能ならしめることはできない。それは背後に經濟上の支配階級を命じてその命令に服從せしめるに足る力を具へてゐないからである。ドイツの革命後に於ける金權者流の跳梁

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

と、それに基づく反動運動の勃興とは、雄辯にこの事實を物語るものではあるまいか。ブルヂオア階級がその經濟力を以て、議會の決議に對する報復手段を採ることは、易々たるものであるに相異ない。イギリスの勞働黨内閣が炭坑國有案に敗れ、資本課税に口を緘して語らないのも、實にこの間の消息を洩らしゐるものと言はねばならぬ。

更に第二の任務を遂行すべき機關としては、議會は全く無力であると言はねばならぬ。こゝに無産階級獨裁の形式としてソヴィエットの主張がある所以である。ソヴィエットは地方的代表者よりなる合議體ではなくて産業別に基く代表者の合議體である。

かく觀じ來れば問題は自ら明かである。議會に多數を占めることそれ自身は決してプロレタリアトの獨裁ではない。そして同時にプロレタリアトの獨裁に導く道程でもないと。

【四】社會政策

議會政策にしても、またある限度までは議會利用にしても、議會を通じて一定の社會政策を實行することはできる。蓋し社會主義的の方策のあるものは、急進ブルヂオアジーの方策と一致するからである。從つてその眞意が那邊にあるにしても勞働組合は議會行動を採ることに依つて解放戰上に裨益するところがある。

唯この新しい戰線に幾何の力こぶを入れるかゞ問題である。

英吉利の勞働黨ができた時に同國勞働者の標語は『ストライキより投票場へ』と云ふのであつた。蓋しこの新しく開かれた戰線こそは彼等を解放へ導く捷徑であると考へたのであらう。併し彼等のこの期待は果して實現せられたであらうか。

或るものは然りと答へるかも知れない。何となれば曲りなりにも勞働黨内閣と云ふものができたから。が他のものは恐らく否と答へるであらう。蓋し勞働黨の下に於ても勞働者は依然として解放の曙光を認めないからである。

樂觀するも悲觀するも一つの觀方である。唯英吉利の勞働者階級の間に、議會行動を以て解放戰の有力な武器でないと考へる考へ方の、かなり著しく表れ來つた一事は、深く注目せねばならないことであらう。

【五】議會利用の矛盾

世界で最も早く議會行動を採つたのはドイツである。ドイツの社會民主黨は戰前既に議會に於ける多數黨であつた。然も彼等は何事をかなし得たであらうか？當時論ずるものは曰く、ドイツの社會民主黨の無能は、それが穩健な議會政策的の黨派に非ずして、現社會制度の顚覆を目的とする社會主義黨派であるからだ、と。まことや當時に於ける社會民主黨は、マルクス主義を信條とする、議會政策反對の立場にあつた。彼等の議會にあるや全くそれを利用せんとするの意圖に外ならなかつた。プロレタリアーの獨裁は明かにそのエルフルト綱領（明言はしてないが）の精神に盛られてゐたものと言へる。

こゝで我々は迷はなければならない。議會政策を採るとしても其の實行力に一定の限度が附せられ、議會利用の立場を採るとしても、その徒に肥滿した體軀を持て餘さなければならないとすれば、如何にすべきであらうか、と。

然し私の見るところではこゝに一個の教訓が含まれてゐるやうである。

ドイツの社會民主黨の矛盾は議會利用（若しくは破壞）の綱領を掲げながら、徒に議會政策的の行動に沒頭したからであるやうに思はれる。即ち眞正マルクス主義の下に立ち乍ら、それと相容れない政策の爲に全力を傾倒したからである。言ひ換へれば議會に多數を占めることに腐心するの餘り、自らの精神を滅却するの擧に出でたからである。併しこれはひとりドイツの社會民主黨が陷つたヂレンマではなく議會利用と云ふ旗幟の下に立つ何れの國の議會行動でも早晩陷るべきヂレンマである。これから見れば議會政策の方が未だ徹底してゐるやうに思はれる。少くともいゝより大きな實行力を具へてゐる。

【六】結論

私は日本の勞働組合が議會行動をとるに當つて、これ等の諸點に充分に考慮を拂はれんことを希望する。

議會行動に全力を擧げて、解放戰の主力をその戰線上に集中するならば、宜しく議會政策の旗幟の下に進むべきである。若し徒に感情の端くれや世間態を顧慮するならば、やがてドイツ社會民主黨の轍を踏むであらう。

若し解放戰の主力を傾くべき對象が他にあることを信じ、一時的の方策としてのみ議會を考へるのであれば、宜しく議會行動に熱中することを止めなければならない。若しこの兩者の態度を混同して首尾兩端を持するならば、それは救ひ難いヂレンマに陷るであらう。

私は日本の勞働組合が政治行動に就て割合に冷靜であることを喜ぶ。そしてこの態度の中に貴い芽のあることを信じて疑はぬ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

概念論者の迷妄

——方向轉換について——

川田秀雄

（一）

私は方向轉換の危險よりも、むしろ轉換せざる危險を感ずるものである。いはゆるリベツ化議會主義化の危險よりも、從前通りの小兒病、概念論・左翼病の危險の方が遙かに大きいことを感ずるのである。自他共にコンミユニストを以て許す人々が全部滔々として自由主義化した所で高が知れてゐる。しかし吾々が依然として左翼的思想に戀々として拱手傍觀するならば、吾々は無産階級そのものを失はねばならぬ。

（二）

かく云へば吾々の怖れてゐるのは、二十人のコンミユニストの墮落ではなく、無産大衆自身の自由主義化であると云ふかも知れぬ。それならば取越苦勞である。無産大衆は何處に居るか、何をしてゐるか。彼等は未だアムステルダム、インタナショナルにも屬してゐなければ、米國のA・L・Fにも屬してゐない。彼等はまだ組織されて居ないのである。それに向つて議會主義化の危險を警戒するのは、胎兒の種痘を計畫してハラハラしてゐるのも同然だ。取越苦勞で無ければ神經衰弱だ。無産階級が組織され一大勢力になつたあかつきこそ、議會主義の危險がある組織さへなく、運動さへない所に危險も何もあらう筈はない。

（三）

方向轉換の危險を説く人は、二重の錯覺から出發してゐる。一つは無産階級が既に一勢力を成してゐると云ふ錯覺であり、他は自由主義がすでに組織された形態をもつてゐるといふ錯覺である。前者からは「大衆を吾々の水準に引上げる」とか「吾々が大衆に妥協する」とか「前衛と本隊との云々」とかの概念が生れる。そしてひたすら「吾々の態度」や「吾々の意義」に曇りが來たりヒビが入つたりすることを恐れてゐる。また「無産階級の意義がブルヂョアから獨立してゐた」と云ふことに、法外な力コブシを入れてゐる。

しかしながら從來の社會主義思想は、一般無産大衆とは殆ど比較にもならぬ少數者の頭の中に巣食つてゐたに過ぎぬ。その人達の思想や概念が、いかに崇高で、〇〇的であらうとも、未だ組織されざる無産階級とは何らの内的關係もないのである。すでに無産階級が大衆的に組織され、その上で思想的にブルヂヨアから獨立してゐるとすれば、それこそ「無産階級の意識は曇らされて居らぬ」と云ひ得る。百内外の社會主義者や組合の幹部に宿を借つた意識を以て、無産階級の意識だと思ふのは大した錯覺である。そしてこの錯覺に陶醉し、或ひは過大視し愛惜するのあまり、「危險々々」とさわぎまはつてゐるのである。

（四）

然し方向轉換は「吾々」の問題ではないのである。それは組織されざる無産大衆の問題なのである。大衆から見ればまだ方向轉換もなければ右傾もないのである。それは大衆が組織されることと一歩前進することである。そこには未だアムステルダムもA・L・Fも、モスカウも居ない。單に組織への一歩前進である。右傾とか左傾とかは、まだ！もつと先の問題である。吾々の念とする所はこの前進——組織への一歩前進を促し、効果あらしめることである。

クドイようだが「吾々」の議會化、自由主義化は第二の問題である。大衆が組織されるか、一歩前進するかゞ、「方向轉換」の「神髓」である。それは「吾々」の態度の變化の問題でなく大衆の必然的進化の問題である。その必然的進化に應ずるためにたまたま「吾々」の方の態度が「轉換」するまでのことだ。「吾々が妥協する」ことでもなく「大衆を引き上げる」ことでもなく、單に大衆を組織すること、これが「方向轉換の神髓である」。

（五）

第二の錯覺からは、自由主義者の中に溶けこむと云ふ危險説が生れる。しかし吾々はまだ溶けこむべき自由主義さへ持つて居ない。

砂糖が水の中へとけ込むとすれば、吾々は、まだ砂糖も水も持つてゐないのだ。今からそれを作り出さうとしてゐるのである。それが「方向轉換」なのだ。吾々は合法的手段を以て大衆を組織せねばならぬ。政治的には合法的政黨を作つて、無産大衆を包括せねばならぬ。出來るだけ社會の中に食ひ入るような大組織を作ることが目下の急務だ。自由主義發展の餘地があるとか、無いとか右傾とか左傾とかは概念の遊戲者に一委しよう。吾々は何よりも、經濟的に、政治的に大衆的組織の必要に迫られてゐる。

危險々々で吾々が騷いでゐれば、ブルヂョアヂーは安心して居れる。しかし無産大衆が組織されることは、右傾するにせよ、せざるにせよ、とにかく一大發展である。（終）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

平凡な農民の斷想

――大衆と組合――

畑　俊夫

大衆

『大衆』――社會運動屋の仲間に久しい合詞だ。大衆のなかへ!!大衆運動へ!!何と云ふ空疎な言葉だ。

『大衆に裏切られた』莫迦め!!お手前達は獏にでも喰はれて了へ!!と言ひたくなる。

◆

大衆と云ふ熟語はどんな實質をもつてゐるのだ。

さうだ。大地の到る所に遍く月影の洩れる破屋に眠り、太陽に射られながら汗と血に蠢めく集團か。さうではあるまい。

春とは問はず、夏とは云はず明るい晝か、暗い夜か、滿潮の漲つた大河に打ちあけられ浮流する塵芥のやうに、街路に溢れ群がつて、○○○の○○○、○○を振る、○○する、だが○も抛る、○○も握ろ、○○する、○○も、○○も、○○も、亂舞も、○○も……この集團ではないか？

◆

集團、奔流する集團無意識的に唯原始に近い生物本能の力に一塊に結ばれた一團、埃に塗れながら柔順兎のやうに、或は血塗れになつた手負猪のやうにか動く群衆、集團こその力、これだらう。

大衆、動的な大衆、これが社會運動屋の大衆だらう。

◆

さうだ。これが必要だ。○○○○はこの○○○廻すのだ。○○これは事實だ。それ以外に外の道具で廻ることはない。外のごんなもの――例へば組合だつて――決定的のものは大衆の動きだ。

◆

『知つてらい、なんだ豪相にバ……』と啖呵でもきりたさうだな、それその猪口才だから『大衆は裏切つた』とベソを搔くのだ。

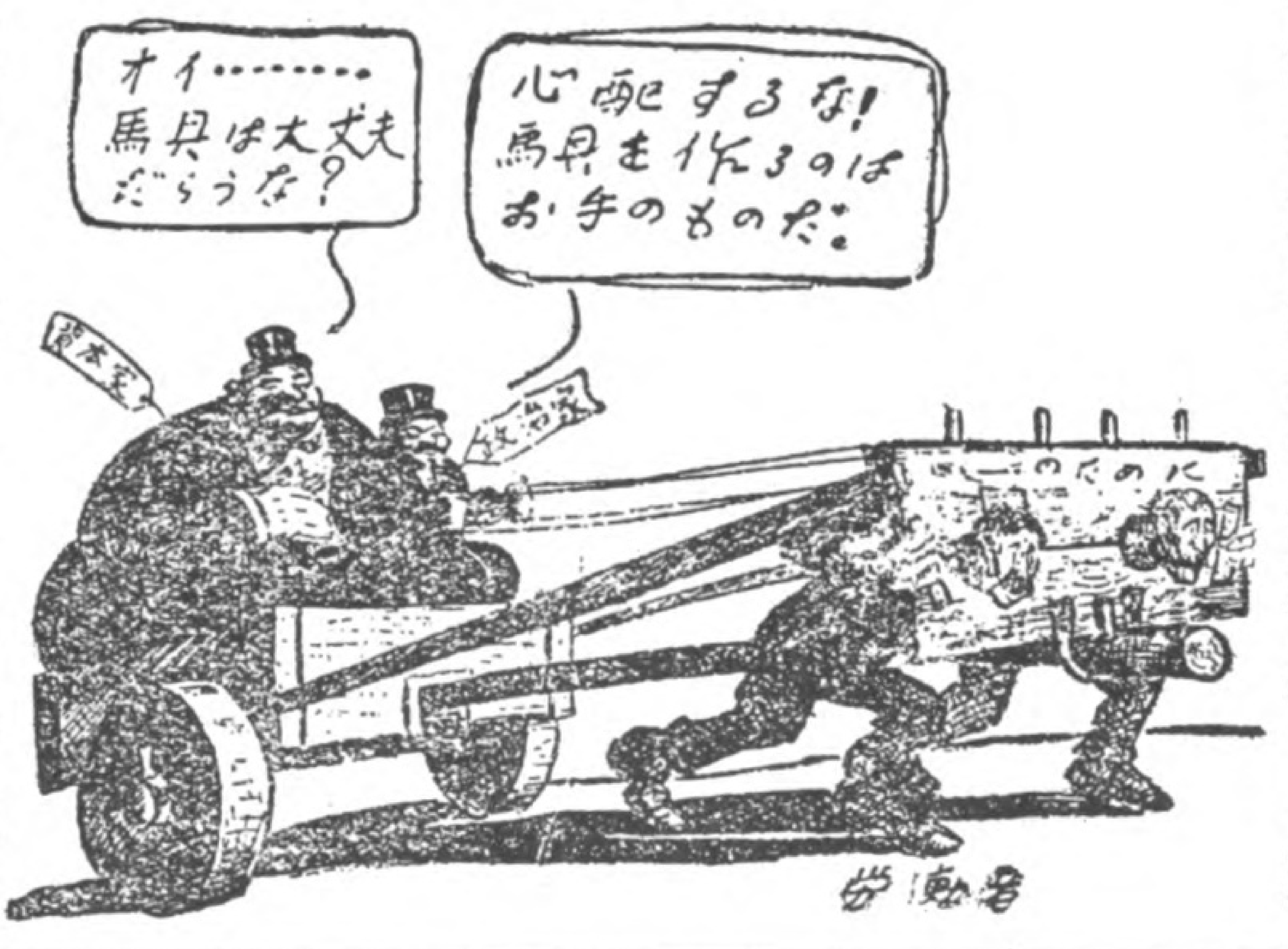
◆

大衆を摑む、喰ひ入ると云つて、雜誌になつた活字を摑むだつて尻拭きにしかなりはしない

大衆の動く、そのことは事實だ記憶に殘された事實だ。そして又來月動くか、來年に動くかいづれ未來に動くことも確實だ。

だが、現實には何處に大衆があろ――大衆になる人間は現實にはゐるが――。

◆



非現實だ、無組織だ、突變的の作品だ。後備軍が現役軍に編成されるほどの現實さはないのだ。

『見ねざる神』――こいつよりましか、妙見樣の白蛇ぐらいだらう――の本體の何處を摑まうと云ふのだ。

◆

組合!!組合!!

◆

雲片々

帝都の『奉祝』費用實に二千萬圓。國運いよ〳〵隆盛。豈、奉祝せずして可ならんや。

○

然り、而して、バラックは、蚊と南京蟲と赤痢、チブス。

○

トタン屋根のバラック、今年の夏は定めし病人が多からうとて、病人を當て込んで藥を買ひ込んだ男がある。サテ〳〵資本主義の世の中である。

○

列車泥棒、米國シカゴに現はる。大仕掛の泥棒振りは近代文明の特徵。工場では、大仕掛で勞働者が絞り取られてゐる。

○

淺野總一郎と云ふ富豪の銅像建つ。咄！吸血像これで又一つ。

○

新しい避暑地がふわたといつて、金持どものみが大喜び。貧乏人は日本人ではないのである

○

特權内閣打破といふお題目が圖に當つて、三菱の婿が天下を取つた。今度は金持の『特權內閣』

○

『排日』で憤死するもの續出。今日の國民はまつたくヤケクソ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

社會〇〇〇〇〇、寸刻も早きその完成、刻々に生きてる俺達——死むだら要らぬ——の努力もそれだ。この現實の俺達が、無組織な非現實な『大衆』『大衆』と熟語を空虚な頭腦に百萬遍お題目に唱へ、活字に並べて何の足しになるのだ。

眼に見えたる集團は無產者の團結、組合運動だ。それに又無產者の前衛——こいつも獏に喰はせろ寢言のやうな文句だが——の編成だ。

◆

『ソラ出た、組合主義萬能論者が』と呟くだらう。尤も近頃は左程でもなからうがね、現實的なものが組合運動だと云つても、そいつが社會〇〇の決定的役目を演じるものでないことはまづ普通だ。——カイゼルの倒れたときの大衆と呼應した獨逸のゼネラルストライキの効果は異例だらうが——。

◆

絕えざる運動の勞働組合の役目は團結の偉力の自覺と階級意識の徹底、〇〇〇の迅速な轉廻準備、それから付け加へれば建設時の訓練、も一つ大事なことは眠れる獅子たる大衆への教化だらう。

俺の云ふ前衛の役目は突擊隊だ、宣傳隊だ、こいつの特に必要なのは社會が廻り初めるその最初の時期にだ。興があるだらう、先達ての地震のをりの軍閥の宣傳ぶりはどうだ。

◆

過程！現實は過程!!

社會變動は凡ての社會運動の窮極の第一段だ。それを目ざしてゐる。當然だ。だが何時くるんだ。

誰も知るまい、來ることは確實だ。誰も知るまい、社會運動もそれ迄が過程だ。さればこそ、原稿、雜誌、快談、演說で寢ころんでゐる。

そして時が來る。飢饉、戰爭敗戰……人心動搖、そら大衆が動く。だが何時くるんだ。

熱情、誠意、昂奮、憾激、それもよい。絕えざる鬪爭は今日の個人、今日の現實と明日の大衆明日の未來では夢だ。今日の勇者と今日の集團——組合——が絕えざる鬪爭だ。

だが、社會〇〇は、今日の勇者と今日の集團と明日の大衆の結合だ。

過程の今日は明かな銳智が必要だ。行動の訓練が必要だ。

賃銀の引上げ、小作料の減額何と云ふ緩漫な齒甲斐なさだ。低質、少量、無力、缺陷だらけだ。だがそれでも集團だ。それじも無產者の集合だ。勞働者だ。小作人だ。

◆

組合の力は『見えた』だけのものだ。

『見えざる神』の信仰を白晝に說く宗教屋のバカ!!

『見えざる大衆』を信じる夢遊病者は何處のバカ?

後　記

大衆は〇〇だ。
〇〇かも知れない。
〇〇〇雨かも知れない。

ブランキーは
巴里コムミユンのブランキイ派は
地下室の運動だつた。
「ブルジョアの武裝解除
プロレタリアの武裝」
普佛戰爭一八七一年
巴里の包圍
大衆のパリコムミユン
農民は
〇〇〇〇〇だ。
アナアキストの〇〇だ。
涯なき野は砂塵をあげる。
文明が〇〇される。〇〇する。
赫く日に焦けた無智の顏に
飾くれた〇〇な指に
昏迷し〇〇〇碎される。
大衆が渦まく。
白い黄な赤い。
紙片が投げこまれる。
白い怒濤か
黄色のウネリか
〇〇の奔流?
大衆は雷霆だ。
避雷線は指導原理かも知れない
だが
大衆は突風だ。（終）

進め附錄
【近日發行】
プロレタリア青年
事務所　京都市竹屋町日暮西入
プロレタリア青年社（大路）

郷土青年
事務所　青森市古茶屋町二十四
郷土青年社（南）

なのだ。

〇

愛國家の武勇『ダンス』と『耳かくし』にまで及ぶ。『〇〇』と『〇〇』へはソレ今〇〇。

〇

高橋といふ爺さんが平大臣になつたと、世間から褒められてゐる。つまンねえことでもあいつ等は褒められるんだなあ。

〇

農村全く疲弊し、福島縣下の小學教員三四個月も無給料。正直の頭に神の宿つたためしなし

〇

藝術を壓迫する警視廳を、加藤首相から叱らせやうといふので、美術家連、首相へ直談判。野蠻なモノには成程こんなのも一手だ。

〇

和田で、酌婦の風紀を改めようとすると、二千人の酌婦失業上つ皮だけ改めようとすることんなもの。

〇

一家五人の生活を、新聞賣つて支へてゐる少年。貧乏な母をやしなふため外出日毎に歸宅して勞働する兵士。孝行者として表賞さる。一片の表賞よりも

孝行者を貧乏で苦しませぬような世の中を作ることだ

（岩澤生）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

勞働運動

直前に突進せよ

野田律太

資本主義の必然的運動、それは免れる事の出來ない自然の法則である、見よ社會の實情を、

次から次にと起る〇〇事件、排日問題、有田音松式の愛國團體の出現又は白晝三尺の秋水を帝都の中央に閃かす悲憤慷慨の勇士の姿を。

斯の如き中に無産階級は自らの陣容を改めては敵の牙城に突進してゐる、二三年來大阪を中心として行はれた階級鬪爭の大渦巻を今年に入つてより廣島九州と其波紋を換大した。

農民運動の眞劍になるのと相呼應して至る所火華を散らしてゐる。

更に吾人の愉快とする所は交通運輸勞働者の組織された事である。公共事業の美名の元に長らく窮乏の屈從を續けた友は悲慘なる日常生活より雄々しくも奮起した

實にプロレタリアは團結する事によつてのみ自己を救濟するのである

此際吾人の最も注意を要する事は幼き時より資本主義の誤れる教育を受けた其感化の全部が脫け切てゐないであろう事である

吾人の〇〇〇〇〇〇の資本主義であり、又世界の資本主義でなければならない、故に吾人は他の如何なる鳴物入りの運動に對しても横目をふらすことなく直前に突進すればよいのであるが、資本家階級及び是が走狗共と其尻馬に乗る愛國者共の哀れにも勇々しき最後の反動運動及び全無産階級の戰烈を亂す爲に『國家』てふ名を極度に利用する時事問題に對してゞである

目下の大問題は何と言ふても對米問題であるが、只、簡單明瞭に立上つてはならない。勿論此度米國のとりし移民排斥は實に暴擧の甚だしいものだと思ひ之れを懲らさなければならないが、此問題を根本的に深く考へなければならないのである

勞働階級が多大の犧牲を拂ひつゝ傷きながら血みどろになつて戰ふは排斥なき平和な社會を建設せんが爲であつて徒らに戰ふ爲に戰ふのでは決してない、然して眞の平和、眞の正義人道の輝く社會の實現は全國の勞働者が一致團結し固く握手を交した時に可能である。

目下の米貨排斥中、眞に公憤の爲に奮起してゐる者のみであらうかと思ふなら決してそうでないもの、つまり自己の商品の賣行の爲にするものゝ多き事に氣付かずにはいられない、曰く蓄音器レコード、曰く活動の映畫禁止、曰く鷲印ミルク、曰く何曰く何々と終には髪結同業組合では西洋形の耳かくし排斥となつて來ていやはや御商賣に拔目無しと言ひたくなつて來るではないか、向ふが排斥するから此ちらも排斥するそれは帝國主義の存在する以上避くべからざる有樣であり遂には干戈を交へてプロレタリアの何も知らぬ者に〇〇〇〇合ひを〇〇する原因となる。

自己の榮利の爲に煽動されて死線はさまようには今の組織勞働者はあまりに無知でない、又一般大衆も數多の體驗の思ひ出が腦裏を去つていないであらう

自己の榮達の爲には手段を選ばぬブルジョアよ汝笛吹けど我決して踏らざる事を明言して置こう。

就中、最も警戒を要するは社會の木澤だと自稱する大新聞紙の宣傳である、營利事業であり資本家の所有する公共機關程、頼りないものはないそれに付ては多くの言葉を要せず、且つてはレーニンの死か幾度か報じられた事に依つても明かである如く社會に迎合され讀者の數をのみ目的として居る新聞紙の論說に迷はされてはならない。

豪傑連中の言へる『外敵のおそい來りて他事なる時一國民同志にてストライキ等するは國家を思はざるの甚だしきであつて此際階級鬪爭は中止すべきである』と云ふ言葉に對しては全國數十萬の失業者を如何にするか更に生活の最定をさへ保證されない現在にありて正當なる生存權確立の爲に戰ふは當然であり是こそ眞の義戰である事を信じて猛進すべきである。是にて答は充分なり、全勞働階級は組織を死守し、横目を振らず一意直前に突進すべきである（終）

暑い道中にて

銀兵衛

午後二時の太陽は總てを燒き盡すが如くキラ〳〵白砂を射て目がクラミさうだ。

フト永屋の氷店があるので地獄で佛の思いで飛び込んだ。

『暑いねエ』

『へー暑いこゝは暑いが此の暑い所へ店を出さんと賣れませんで……』

私はなる程と感心した、暑い〳〵苦しい時こそ彼は商賣が出來るのだ、涼しい樂な所で誰が氷を喰べやうぞ

私達の運動も此通り壓迫と迫害に堪へてこそ眞に効果を得られるのだと。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

交通勞働者罷業の理論

今吉一雄

(一)現代産業及將來に於ける交通勞働者の立場

全日本の有らゆる生産に携り現代文明の維持に勤めてゐる勞働者の總數は大正十年調査に依れば一〇、八二五、九二九人で其の内交通勞働者は九三三、六七七人である。內、海上交通勞働者は三三九、四三七人であるから陸上交通勞働者の總數は五九四二四〇人となる、これには勿論國有鐵道の從業員、馬車馬力、自動車運轉手人力車夫、電鐵從業員等が含まれてゐる。

私が今論ぜんとする理論の對象は全交通從業員ではあるが近時燎原の火の如くすさましい勢ひで擡頭して來た電氣軌道及び地方鐵道從業員の組合組織とその階級鬪爭を度外視する事が出來ぬ以上私の議論も此の種交通勞働者を否現在交通勞働問題に注目しその戰鬪武器たる同盟罷業に對し正確なる理論を打ち立てゝ置くの必要に迫られてゐる點に止まるであろう。

さて軌道及地方鐵道從業員總數は四四、四三三（大正十年三月來調査）とある、これを全交通勞働者の數に比較せば二十分の一に過ぎず、全勞働者數に比すれば僅か二五〇分の一强である。

併も現在に於ては先づ此の少數交通勞働者が目醒め階級鬪爭の第一線に次から次へと繰出しつゝある。そして此の種四四、四三三人の交通勞働者の團結は遠い將來に非らざる事は私の信じて疑はぬ所である。そしてこの四四、四三三人の電鐵及地方鐵道從業員の完全なる陣容整備と訓練を以て私は交通勞働者運動の第一期としてより第二期たる國有鐵道從業員との大同團結に遷らる可きであると思ふ而して現在は第一期の初期であるが故に交通勞働運動は前途に多くの障害を望見する。

鐵道の延長數が其の國の生産業發達の程度を視るバロメーターであると言はれる程交通運輸が國家産業の最重要機關であり國家産業を資本主義が支配しつゝある吾が國にとつてはこの交通運輸機關は當に資本主義の心臟である。そしてこの心臟の實際上の産業權を覇握する交通勞働者の資本主義に於ける力が如何に偉大であるか又吾等が新社會建設にとりかゝる時如何に交通勞働者の任務が重大であるかは言ふ迄もない。

これを要するに今日僅々四萬數千の電鐵及地方鐵道從業員の使命たるやその數を見てその價値を判斷すべからざるものがある。

(二)階級鬪爭に於ける交通勞働者の難關

さればこそ現代資本家階級はこの種勞働者に對して非常なる注目注意を怠らずあらゆる奸策をもつて吾等が運動を僞瞞の中に葬らんとする一面あらゆる强權を以て壓迫を爲しつゝある、これを考察するに、彼等が壓迫の手段は左の二種に分ける事が出來る一は强權の壓迫と二は一般民衆を煽動するにある。

交通機關を經營する當局者は其の公私の別を論ぜず或る程度迄吾等交通勞働者と同じく交通機關が公共の事業たるの故を以て勞資の鬪爭に於て不利益なる立場にあるは私共も承認する。それは、彼等は他の産業を營む資本家の如く絕對自由を持つて居らぬと言ふ事である、譬へば他の資本家が勞働爭議における唯一の武器たる工場閉鎖の如き資本家側自ら交通勞働者に對してその機關を停止して勞働者側に生活の脅威を與へて自らの目的を貫徹する事は絕體に無し得ない。

そこで彼れ等は常にこの點を指摘して强權の同情を求め一方民衆を錯誤の彼方へと煽動して吾が交通勞働者の爭議を唯一の手段たる同盟罷業に對抗せんとするのである。

若し公共事業に從事する勞働者（瓦斯電氣等をも含む）にしてストライキ或はサボタージュが絕體に理論上不可能であるとするなれば勞働組合の存在は此の方面に於ては無意味である。併し交通勞働組合存立の意義は嚴然として存在する、曰く交通勞働者の團體行動の唯一の武器は如何なる方面から論ずるも合理である。

譬へば電氣鐵道會社に於て爭議勃發し資本家橫暴の極勞働者憤然起つて業を罷めたとする。交通の停止この迷惑の及ぶ所の程度は如何！第一直接の打擊は會社である、第二は一般ブルヂヨア輩である第三は理解なき一般無産階級である併して階級意

リープクネヒトを偲ぶ

大阪印勞　牧野一郞

眞赤なバラの咲く頃
私は常に偲ぶ──
かの勇敢なリープクネヒトを、
無産者革命の先驅をした
巴里コンミユンの年に
孤々の聲を擧げた彼は
雄々しくも眞赤な線で
一生を貫き終つたのだ
巨砲、銃劍、龍騎兵
毒瓦斯の本尊
軍國獨逸の汚れた地殼を破つて
萠ね出でた人類共生の花
あらゆる國境を越ねて
無産青年の血を通した
反軍國主義の大絕叫
「未來は青年のもの……」
あゝ、何んと云ふ快い響き
亦勇健な理想の把持者
而して苦惱の行路よ
犧牲の主張──
スパルタカス團こそ
永遠に光あれ。

乳兒よ

大阪合同　田中和[illegible]

母の懷に巢くつて居る
小さい柔らかい乳兒よ
お前程
永遠に可愛い者はない
純な者はない
清く美しい者はない
幸福な者はない
安心して居る者はない
お前が眞の人間だ。
俺達は人間らしくないからな
しかし勞働者の子のお前が
大きく成つた時の事を思ふと
俺の心は暗く成る
社會のごみ共が未だ未だ
思ふ樣に片づくまいと思ふとな
しかしお前は本當の幸福の中に
住めなくても
俺達よりも目に見ねて
働き甲斐が在るに違いない
いやいや、きつと、幸福で

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

識に目醒めたる殘りの無產大衆は拍手喝采して喜びこそすれ迷惑はせぬ、

　此の點より考察する時は交通勞働者の同盟罷業は强制的同情罷工及びサボタージュを伴ふ事になり是れに服せざる者は資本家に非ざればその走狗である。

　勞資の爭議に於て會社側が交通の停止を宣して勞働者の生活を脅威するの手段にある他の資本家の工場閉鎖の如きに出る能はざるは彼等ブルジョアー輩が現社會の有らゆる產業權を彼等が掌握せる證據にして、又一方この交通機關をヨリ多く有利に利用して利得しつゝある自階級の數が公衆の中に多く存在する事を物語る。

　見よ、無數の勞働者が都市煤煙の下一小屋に蟄居し、或ひは社宅の一隅に蠢動せる、一回六錢なり七錢の電車賃に窮せる吾等兄弟の生活の半面を、彼等ブルジョアー階級の多くは阪神間或ひは須磨明石と風光明媚の地に居を構へ春は花夏は涼しき海風にその生活を樂しみつゝあるのである。彼等の多くが斯うした狀態にある間如何に厚顔無智の我利〱ブルと雖もこの機關を自ら停止するの勇氣を持ち得ない。

　若し此の種の機關を利用する者にして無產階級而已ならんか資本家は運轉停止の擧に出可く勞働者たる從業員はあらゆる壓迫を峻拒して機關活用につくす可く强權は又資本家の走狗となり勞働者の機關活用に妨害す可し、これを要するに彼等が云ふ一般公衆たる美名を解剖する時如上の結果を吾等は見ると同時に交通機關の停止はプロレタリヤ階級のブルヂョア階級へ對する一大打擊であつて、勞働階級が組合運動に於て同情罷工の擧に出ずる事既に一般的になれる今日敢て怪しむに足らない。

三　一般公衆自覺の必要

　若しそれ同盟罷業なるもの〻眞意を吾等が知る時吾等は如何に勞働階級の度量の大なるかを見出すであろう。それは同盟罷業とは勞働意思の放棄ではない事である、それは益々働かんが爲めの罷業である、働き得ざるが故の罷業にして、勞働の意思は嚴然と吾等の胸中に存在する、勞働の意思なき罷業は文化の破壞である、吾等が罷業は文化を建設せんが爲めの超勞働である。

　更に是を衞生的方面より見ると公衆に接する職業に從事する勞働者は暗き工場内に働く勞働者こその體軀に於て健康勝れたるもので無ければならぬ更にこれを心理的感情的方面から見るも亦同じである長き勞働時間安き賃銀强制的勞働峻酷なる懲罰制度の如きは當局自ら改善し徹廢して行かねばならぬ會社當局者にしてこの根本的施設を忘れ自らの利得を而已これ事として一般公衆の利益を忘るゝに際し吾等が最後の行動たる罷業に出ずるは一般公衆の福利增進の行動でこそあれ民衆の幸福を妨害する行動とは絕對に言ひ得ない

　一時的の不便にして永久の幸福を克ち得んかその不便忍ふ可く否歡迎すべきではないか。

　若しそれ交通事業經營者等が最後の城砦として立て籠れる奸惡なる理論『當事業の經營は公營である』に至つては自ら天に向つて唾するに過ぎぬ大阪或は東京神戸等の如き自治都市に於ける交通勞働者搾取の利益は總てこれ私營會社のそれに異ならぬ彼等は公共の美名の下に市營の美名の下にこの二重の奸策を弄して一部有產階級が私腹を肥すに過ぎぬものにて、吾等が現在の都市に於ける自治政を見る時明瞭にその間の消息を知る事が出來る、そは現日本がブルジョアーの國家であり國家の利益は有產者の利益の表現であるが如く一部有產階級の利益は自治政體の利益として表現さる〻。無產階級が市政に權力がない以上、國家の權力が一部有產階級に覇握されてゐる以上、無產階級が○○○○○の立場にある間は、交通機關の○○○○○○交通勞働者の唯一の○○○○○○盟○業は○○であり○○である

　如上の如く吾が交通勞働者の組合運動はその終局の武器を行使する事に於て○○あり○○○はあるがこの產業たるや他の產業と異なり平生公衆に接するが事甚だ多く從つて罷業に依り一般民衆の受くる影響は絕大であるが故に交通勞働運動はそれ自體の發展途上に於（　）一般無產階級の自覺と同情の切要なるは他の產業勞働者の比ではない。

　　一九二四、六、一九

兵電從業員組合發會を祝す。

斗き甲斐が作るに過ぎないよ義務は共に負いで居るからな

正義は何處に在るか

昔、世界戰爭と云ふ正義と正義の戰爭があり今は、太平洋を隔てゝ正義と正義が睨み合ふ。正義の僞物のなんと多き事よなんと無恥な白痴共だ。眞の正義は何處に在るかけし粒の樣な愛鄕心や愛國心の中には正義の片影すら無い。無產階級解放の上にのみ正義は輝いてゐる。インターナショナリズムの精神の下に「萬國の勞働者團結せよ」と叫んでゐる。

他人のふんどしで角力を取る

● 講釋師は眞實らしからざる樣に虛構し、宗教家は眞實らしき樣に虛構す。

● 火酒を飲む者は飲んだくれなり葡萄酒を飲む者は衞生家なり。「体裁のい〻○○、强○、○○を資本家と言ふ」

● 男子の貞操は聯隊旗の如く、女子の貞操は煙草袋の如し、前者の全きは侮られ、後者の破れたやは捨られる。

● 食を絕ちて殺すは野蠻なり、食を減じて殺すは文明なり。

● 己れを喪へる生は、死よりも意義なし、己を喪はざる死は生よりも意義あり。

「罷工の裏切者よ、龜戶の勇士よ」

● 嗅覺なき者には屍は快活なる香なり。

「自覺なき者は反動の如何に嫌ふべきかを知らず、其の馬鹿騷ぎを嬉ぶ」

● [illegible]に浴しつ〻都々逸を唄ふ樂天家は、狐の恩を謝す。

「搾取壓迫されつ〻讚美歌を唄つて、馬鹿者は、紳と牧師の恩を感謝す」

● 黃金の鎖は鐵鎖よりも重し。

「軍閥よりも財閥強し」

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

農民問題

農民組合の前途

湯原彦三

我が國の農民運動は近々二三年以來世界に比がない程急足なる進歩をした此は世界に比がない一反歩四十圓前後の小作料を地主から搾取され全世界に比がない引合ない否缺損をなしつゝ耕作に從事して居たと云ふ事が最大なる原因であらう然るに戸主制度の弊害であらうか農村青年は小作問題には無關心で小作問題で集まる人は皆中年以上の人否老人が多いのである。

併して農村青年は軍國主義者の宣傳や官制青年團の組織に眩瞞されてはならない。

稼ぐに追付く貧乏なしと云ふ資本家の宣傳を其儘信じて居たのではあるまいか中には階級意識に目醒むるものありといへど熱無く力なく超然として超越し哲學に走り文學に走り藝術青年として社會改造は他人任せとして卑屈にも自己萬能主義を發揮して居るのである。

時代は進んだ何時迄も不勞所得や胡麗化しは通らない農民運動によつて最も痛切に感ずるのは階級意識に目醒めたる農村青年を得ることである。

小作人組合が出來るイの一番に盡力をするものは多少でも小作人より經濟的に樂な自作農階級者が多い、併し乍ら村の有志であるとか〇〇であるとか云ふことは必要がない小作人組合は小作人で作るべきものであつて自作農以上の人が組合幹部となつて居るところは往々にして野心家があるのである。

中には村會議員に出たさに組合運動に盡力する者もある一度議員にでも選出されゝば忽ち智識階級を氣取りブルジョア氣取つて小作運動をすることを何となく人格の下る様な感じを持ち地主と妥協しブルジョアの巣窟となつてしまうのである。

小作人組合は地主の搾取に依つて一番生活に困難を來しつゝある人が一番に飛出して働いてもらひ度きものである。

組合運動は一割二割の輕減によつて成功したものでもなんでもない我々無產階級は搾取の組織のあることに依つて貧棒を來して居るのでたれも働く世の中になれば日本人は四時間働けば生活の安定は得らるゝと云ふことである。

現今都會の勞働者が八時間制度を叫ぶ時に於て農村の無產階級は八時間はおろか十二時間も十三時間も働いてそれでもやつぱり貧棒だ。此は遊んでゐる階級の埋合はせをなしつゝあるのだ難破船が風波に任せて大海に漂ふて居る様な馬鹿な事はしたくないものだ。

團結と云ふ燈臺を認めたなれば其の光明を便りに自分の作つた米は自分のものになる搾取のない良港に早く行かふではないか組合運動は道樂や御交際でするものではない自分は貧乏人は暇がないから何人がやつてくれるであらふ等と人に依頼心を起さす。

起て農村青年資本家擁護の〇〇に出てあたら命を落すのが忠義じやあるまい我國の田園は年々數千町歩を荒野と化しつゝあるのではないか農村無產青年は都會に出ても資本家に機械の如く使はるのみだ農村無產青年は此の捨られんとする農村に踏止まり農村を救ふべき天職がある農商務省の原案になる自作農創定案毎年一萬一千九百町歩の田畑を地主から買收し小作人に年賦支拂法で小作人に賣り付けるんだと現今の地價では田に出來た米を全部小作が取つても一割餘の利潤にしかならない其中には働いた勞働賃銀もあれば肥料代だやれ農具の損料だ資本主義の世の中では上手に金を廻せば年に二割や三割の利子は得られる一年中働いて五分や六分の利潤を得る馬鹿は何處にあらうかそう何時迄も百姓も無智では居ない。

之を見ても政府當局の誠意の無い事が分る自分の事は自分でやれよ俺達の事は俺達がやるんだ我等無產農民は此の不合理なる社會を〇〇すべく第一戰なる小作料の〇〇を行ひ第二戰として農村の胡麗化しものゝ信用組合を破り無產階級の手に依つて消費組合を作り商人に中間搾取の際をあたへないこと第三戰には官制青年團を無產階級が團結の力に依り乘取り軍隊には何のため出るかと云ふことをハッキリと調べる必要あり。

軍隊の宣傳や尻馬に乘つてかるはずみに命を棒に捨てはならない。

シベリヤ出兵の犧牲者六千の生靈はさぞ宙に呻吟て居るのであらふ。

農村無產階級諸君世の中に勝てば官軍敗れば賊軍との諺もあるが最後は正義如何に特權階級が權力を振ふとも正義の前に案外氣の毒であることを一言申述べて此の稿を終る。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

小作爭議

法廷戰の傾向

布施辰治

一

小作勞働者の農民運動が、近時漸く白熱化して來るに從つて、小作爭議最後の決戰を法廷の裁判に運ぶ地主が甚だ多い。

一體、社會問題、勞働問題の爭ひが白熱して行くと、ブルジョア階級からキマツテ最後の決戰を法廷の裁判に運び込むのが現代の最も特異な傾向である。

殊に、夫れは何にも法廷の裁判が、公平嚴正なものだからと云ふので、どんな問題に對しても最後的決定權を握つて居るもの最後的決定權を握つて居ると云ふ譯では無くて、現代の法律、現代の裁判官と云ふものが社會問題、勞働問題、政治問題に對する特權の立場と使命とを有する、暫らくの最後的決定權を握つて居る點に於て、現代の特異な傾向なのである。

這回の消息を最も雄辯に物語るものは、由々しき理論的説明よりも、生々しき眼前の實證を見れば、誰にでも判る、社會問題の爭ひを白熱した言論戰に就て、又其の實際運動に就いて、之を公安維持を名とする法廷の裁判に運ぶものは誰れであるか——勞働問題の爭ひを白熱した罷業と閉鎖との持久對抗中に行はる交渉談判を煽動騷擾と稱して、法廷の裁判に運ぶものは、抑も誰れであるか——未だ曾て社會運動者側や、勞働者側から社會運動や、勞働爭議を法廷の裁判に運んだ例しは無い。

二

借家爭議や、小作爭議やに關する司法統計が、累年激增を示して居ると云ふが、其の總てが家主や地主やから提起せられたものであつて、借家人や小作人やは、賣られた喧嘩の對手たる事に迷惑して居る實狀は、借家爭議や小作爭議やに關する司法統計の激增に氣を病む、司法當局の熟知する處であらねばならない。

然も、借家爭議や小作爭議やに關する司法統計が、累年激增して行く事を氣に病んで居ると云ふ司法當局の斯ふした問題に對する法廷の裁判か、益々家主や、地主や、工場主や、一部の特權階級をして、愈々左うした問題に對する、暫くの最後的決定を法廷の裁判に運ばしむる如な事跡の 著しきものがあるから驚く。

三

現に私の取扱つて居る小作爭議の法廷實例に就て云ふと、六年越しの小作爭議が、三年前から地主に依りて、法廷の裁判に運ばれた、小作人側の持久戰が成功して、イカに現代の○○——現代の○○が、地主側の○○を餘儀なくせしめらる〻立場を使命付けられて居ると云ふても、社會運動の本流に棹す、民衆の○○○背景にした、小作人側の應戰振りは　法廷の裁判にも甚だ優勢なものがある。否寧ろ、法廷の裁判に相對した、地主側と小作人側の白兵戰的論爭は、小作人側が社會的公平に陣地を敷いて、人間的正義の巨彈を放つ階級戰に、十分の勝味を示して居る。假りに法廷の判決に敗くる事があつても、社會的勝利の反響に、甚だ有意義な形勢を示して居る。左様した法廷の白兵戰論爭に對しては、如何に現代の裁判官とは云へども、最後的決定權の行使に、手の裏を返すやうな裁判をするのは、ナンボナンデモ、アンマリだと云ふ氣遲れがするらしい。

四

其處で、彼等地主側は小作爭議に對する、暫らくの最後的決定を法廷の裁判には運ぶが、小作人側との對抗論爭を避けたいと云ふ小作爭議の合法戰術を、暗打ち拔き打ちの金力に縋る假處分、假差押へに求めて、現代の法律と現代の裁判官が之を迎へて居るのが其の實例である。

片言を聽いて訟を斷ずるなど云ふ事は、裁判上の格言である親が子供同志の兄弟喧嘩の仲裁を付けるにも、一人の子供の言ふ事丈け聽いたのでは、必ず偏頗に陷るに違ひない。地主側が、小作人側との對抗論爭を避けた、假處分、假差押へは、全く地主側の片言を聽いて現行の法律——現代の裁判官が小作人側を惡者扱ひにするのである。

最も、文明の體面を飾る現代の法律——現代の裁判官の事であるから、地主側の片言を云ふなり次第に聽いて、訟を斷じたとあつては、文明の體面が汚れるのを慮り、小作人側の答辯や釋明を聽くに暇の無いほど危急な地主側の訟だと云ふ、制度上の體裁を作り、更に萬一にも地主側が小作人側の答辯や釋明を聽く暇の無い程、危急な訟だと云ふ事が嘘であつたら、其の爲に生じた小作人側の損害は地主側に之を賠償せしむると云ふ體裁を整へて、地主側に保證金を提出せしむると云ふ事にして居るけれども、左様した地主側の『危急な訟訴』だとか『保證金提供』だとか云ふ事は、全然表面の體裁丈けで、其の實は地主側が小作爭議に勝たんとする暫らくの最後的決定を金の威力に俟つものである事を忘れてはならない。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

五

が、しかしながら、左様した地主側の金の威力に傍つ假處分や、假差押へは、如何に暗み打ち拔き打ちに行はれても、結局法廷の裁判は、當事者双方の言を聽いてからで無ければ、暫くなりとも確定的判斷を下す譯には行かない。從つて、當初の小作人側が、左様した暗み打ち拔き打ちの假處分や、假差押へに度膽を奪はれて、小作爭議の根本主張までも捨てた、屈從的解決に服した時は、地主側の戰術として、甚だ有効であつたが、小作爭議の戰術に目覺めて來た小作人側は、そんな一時的の暗み打ち拔き打ちの假處分や、假差押へに驚かない、又、驚く必要がない。片言を聽いて決定した處分や、假差押への非を鳴らして、小作人側から假處分、假差押への取消か變更かを求むれば、從來の關係さへにも、社會的に人間的に正しい小作爭議である限り、之を合理的に當て箝めて行くと、必ず最後の勝利に歸する事を疑はない。

六

萬一にも、地主側の陰險な手段に依りて、左様した假處分や假差押への取消しが遅れた爲めに、小作人側が損害を被る如き事があれば、豫め地主側に提供させて置いた保證金で、之を賠償させる事も出來るのである。

由來、無產階級の解放運動は徹底的の戰ひを戰ひ盡して、最後の勝利を期するにあるのであるが、小作勞働者の農民運動も、又、徹底的の戰ひを戰ひ盡さへすれ必ずや社會的公衆に訴いて、人間的正義の下判を仰ぐ小作人側が最後の勝利に歸するが地主側の法廷の裁判戰を地主が自ら撤回して和解を申出づる持久戰の勝利に歸する事を信じて疑はない。

農民と階級鬪爭

神道久三

（一）

最近、久し振で田舍に歸つた時の事だ。丁度〆座で帝國農事協會の、某と云ふ博士が來て、農民問題に就いて講演が開かれてゐた。

博士の講演は大略次のやうなものであつた。

『諸君、今や我大日本帝國は重大危機に立つてゐます。排日の問題の如きは、擧國一致以て、外敵に當らねばならぬ問題でありますのに、私共はまだ米國と戰へと云ふ叫びを聞かないのであります。これは日本の軍隊が米國の軍隊よりも弱いからではありません。否日本の軍隊は祖國の爲めであるなら、妻子が飢に泣かうと、病母が病床に倒れやうと、戰死する覺悟があるはずです。それで、戰へないと云ふのは一に日本の國が貧乏で金が無いからであります。米國と戰つて勝つためには、先づ國力の充實を計らねばなりません。產業を發達させ、農業を振興させねばなりませぬ。それには、資本家と、勞働者、小作人と地主とがお互に協力して國家のために努力して產業に勵ませねばなりません。特に、日本のやうな農業が全產業の六割を占めてゐる國にあつては、諸君農民の努力が重大であります。一に日本の興亡は諸君の双肩に懸つてゐると云つても過言でありません。こゝで私共は、日本帝國將來のために農村振興を計らねばならぬと思ふのであります』更に彼れ語をついで『こう云ふ重大な時機に當つて一部の者は、郷土を捨てゝ都會に走り、一部の者は農民組合を組織して地主と爭ひつゝあります。忠良なる我が農民諸君、諸君は徒らに地主と爭ふ時ではありません。又、諸君は地主があればこそ働いて生きて行かれるのです。地主と爭ふ事は諸君自身を亡ぼす事です。諸君は、この重大時機に當つて地主と協力して產業を發達せしめ、何時でも戰へるだけの準備をせねばなりません。云々』彼の帝國農事協會とは地主の擁護機關である。彼れ博士は、其の御用學者なのである。

（二）

斯んな馬鹿げ切つた理論があらうか。しかし、事實は、彼等御用學者は白晝公然と斯く無產者を欺瞞しつゝあるのである。其の數日後の事だ。吾が親愛なる可き無產者の在郷軍人諸君が、阪神の大道に數十臺の自働車を連ね『國難來る』の大旗の下に數十萬のビラと共に示威運動を開始したのは。博士の重大危機とは少數のブルヂョアに取つてのみの問題である。排日問題が何に原因してゐるか。日本と米國の資本主義の利害の衝突ではないか。吾等無產者には、日々の失業と、生活の恐威こそ當面の切實の問題でこそあれ、吾等と利害を異にする彼等資本家の利害の衝突、侵略主義の衝突が何んの關係があるか。盗棒同志が分け前の爭から『國難來る』と叫んだら、誰れか其の馬鹿さ加減を笑はないものかあらうか。

次に彼等の言ふ戰爭とは何事だ。成る程、彼れ博士の言ふ所の、〇〇參加する者は、農村否全無產青年であらう。そして親しかる可き〇〇〇〇〇〇と共に〇〇〇〇消ねるであらう。

若し日本が戰ひに勝つたとして見よ。果して、吾等無產者の飢餓も失業も救はれるであらう

か、後にのこつた妻子や老父母は、果して、路頭に迷はないだらうか。

戰勝も、吾等無產者には一層飢餓と、窮迫と、搾取とを以て報ゆるであらう。然して、彼等資本家は何を得るか。莫大な戰爭利得と、更に新しい市場と、利權とを獲得して、肥滿したを體一層肥滿さすであらう。

〇〇なる妖婦の甘心を買ふため、切り取り强盜をして貢ぐ靑年があつたら、妖婦は靑年を呼んで『正義の士』と云ふ。こんな自明な事柄を今更述べる必要もないか知れんが、以下少しく博士の言を駁して見やう。

（三）

先づ御用學者や加藤內閣の言ふ農村振興とはどんな事か。曰く、自作農の創定、曰く、小作爭議調定法案である。其の機關が農務省獨立であり帝國經濟會議となる。

これ等の政策を一々吾等の立場から批評すべきであるが紙面の都合でそれは他日に讓つて大略を書かう。

自作農創定は、國家が低利資金を貸與して、小作人に土地を買收せしめて、小作人の階級鬪爭を緩和させやうと云ふのである。しかし、如何に小作人が若し、一度は土地を買收して自作農となつても、資本主義制度の存續する限りは、大地主に壓倒され、又は都市の商工企業家のために再び土地を手離さねばならなくなる。つまり現在日本の自作農の一ケ年の收入は、平均一家で四百四十五圓、月三十七圓、この內から、稅金、耕作費（肥料、用具）を差引けば生活費として殘る所は二十圓位のもので、これで一家を支へねばならぬ。加ふるに資本主義の製品卽ち商品は、農民の懷を目あてにドシ〳〵浸入して來る。農民がこの法外な低い收入を以て資本主義の社會に生存する事は困難だ。そこで、農民は、土地を擔保に入れて一時の窮迫を救ふため高利で金を借入れる。月二十圓たらずの收入で、利子を拂つて元金を返濟し得ないのは定まりきつた話しだ。土地は再び農民の手を離れて金持の手に屬するのである。小作人が政府から金を借て土地を買つて、其の後に自身に殘るものは、土地ではなくて、借金の山である。より以上の生活の脅威である。

試みに地主と、自作農と、小作人の各階級の全負債額を數字で表はして見やう。

	負債額
地主階級	二、一二四、三〇〇圓
自作農	四五八、一四〇、八六〇圓
自作兼小作農	四二一、八〇三、六九一圓
小作農	一四四、〇九九、四六一圓

斯くして、農民は、一方では漸次に小作人の群に追ひやられ法外な小作料、全收入の六割から〇を年貢とし地主に收奪され、他方では、都市の商工ブルヂョアに依つて、消費者として、或は金融機關を通じて搾取されるのである。

月平均十一圓十錢の、純收入しか無い小作人、地主に依つて思ふ存分穫收物を搾取される小作人、家庭の幸福も親子の情愛も、地主に依つて破壞される小作人、可愛い子女は地主の息子共が學校に通ふ時、男の子は肥桶を擔はせ、女の子には小さい手に茨の傷を負はせねばならぬ小作人、地主の妻女が分娩に喜ぶ時、妻は病床に飢に泣かねばならぬ小作人。

〇取される者と、搾〇するものこの利益が異るのは、當り前の事だ。勞かずして、製產品收獲の六割を收奪する地主階級の存續する限り小作人の幸福は絕對に無い。小作人が農民組合を作つて地主階級と戰ふのは小作人の權利だ。農民の正義だ。

こゝで支配階級が思ひついたのが『小作爭議調停法案』だ。この調停法案が地主階級の純然たる擁護機關である事は今更云ふ迄もない。彼れ政府の任命した調停者は云ふであらう『地主と小作人は爭ふ時でない。地主と小作人は協力して農業を振興せよ。この爭議は一先づ止して、地主もいくらか小作人に溫情をほどこしてやり、小作人は一層勤勉に働いて今迄より多く勞き、多くの土池を耕せ。稼ぐに追ひ付く貧乏なし―』と。

吾々小作人は所謂農村振興策によつて、左手からは、〇〇〇として自作農創定法案〇〇ませられ、右手からは小作爭議調停法等の〇〇に依つて、手足〇〇たれ樣としつゝある。

（四）

農民の幸福は、農民自身が獲得せねば得られない。階級鬪爭とは、資本主義の發達と共に必然的に起つた歷史的產物である。地主と小作人、勞働者と資本家、卽ち搾取する者と搾取される者の爭ひである。又、これと立場を同じうする自作農や、都市の小企業家が無產階級の立場から、大地主、大資本家と爭ふ事である。一言にして言へば利害を異にする階級と階級の爭ひ卽ち有產者と無產者、支配する階級と、支配される階級との間の爭鬪である。

吾々無產者は、農民も勞働者も其他立場を同じうするものは、共に自分達の屬する無產階級の立場に立つて、其の立場の利益を第一義として、有產階級と鬪爭を開始するのである。

無產階級の正義とは、米國と鬪ふ事でもなく、所謂農村振興策等と云つて、地主や資本家の腹を肥やしてやる事でもなく、自分自身の利益と、幸福と、自由のために階級鬪爭に參加する事である。

經濟的には、組合を組織して目前の、當面の生活のために地主と戰つて行き、當面の地位の向上を計ると共に、更に進んでは、都市勞働者の叫ぶ產業管理と同樣の意味の、〇〇の國有、土地の〇〇耕作、大規模の農具の採用、收穫物の公平分配等に依つて、農民の眞の幸福と、平和と、自由を獲得する事である。

又政治的には、無產階級政治運動に參加して、國家機關を通じて、目前の利益のために鬪ひ或はこれ等の經濟的運動をより可能にするために鬪爭し、更に進んでは全無產階級が、政權を〇〇〇〇〇政治を實現し、搾取する者のない〇〇、眞に無產者が解放された社會の建設のために努力する事である。地主階級と〇〇は農民階級自身が自分を解放〇〇〇〇〇途である。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

全國官製青年團諸君に檄す

佐藤光敏

全國官製青年團諸君よ！

諸君は現在國家の中堅を任じ而して我が大日本帝國の未來の擁護者を以て任ずる憂國の青年諸君である。

寔に我が大日本帝國は一に諸君の双肩にかゝつてゐるのである。諸君の責任や重且大でなければならぬ。

然らば其の未來の把持者たる諸君は國家內及國際間に於ける色々の問題について考へないでは居られない筈である。最早老耄れた政治家達に任して居れない筈なのだ。棺桶に脚を七分迄ハマリ込んだ政治家達に何んで此の重大なる國際問題、國內問題の事を專斷さして居れやうか『未來は青年のもの』なのだ。

此處に一つの國際的國內問題として我が光榮ある大日本帝國の發展として又世界各國を戰慄せしめつゝある所謂過激思想・又は危險思想卽ち社會主義が滔々堰を開きたる濁流の如く此の三千年以來の光榮ある日本に渦を卷きつゝある一大事實を諸君は見るであらう。卽ち慨世憂國の官製青年團諸君は此の恐るべき事實に對してあらゆる防止法と排斥策と撲滅術に苦心し一日も早く此の日本を安定せしんとする。あゝ其の憂國の心慨世の魂を我等は如何に尊敬してゐる事か。

國家を安定せしめるには先づ內部の缺陷を補正する事にある國內の不平は其處に何か『事實』と目すべきものであらねばならぬ。現代の最大不平思想の隨一社會主義は抑も何者なる乎。

思想は全地球面を縱橫無盡に流動してゐる氣流の如きものであつてトラマへ所のない無固形物である。然し乍ら思想は無から生れたものではない。必ず有なる『事實』より生れたものである。『事實』の背景なき思想は空想となり終る。果して社會主義思想は空想であるか。又は『事實』より生れたる思想であるか、社會主義を煽てる者があるから社會主義が起るそれは丁度半鐘が鳴るから火事が起ると云ふ無考察な昔人間のいふ所である。然し『火の無い所に煙は立たぬ』と云つて『煙』のある所には必ず『火』があることきまつてゐる。それは動かすべからざる『事實』でなければならぬ。煙を煽てる者があるから火事が起るのだと云ふのは結果を見て原因を知らぬ章者たるを免れない。

諸君は果して社會主義が煙の如く渦卷いてゐるのを見てやつぱり火が無いと斷言するであらうか。

諸君は、志士が好きである。就中幕末明治維新の志士が最も好きであらう。血と肉との寔に肉彈相搏つ維新革命の志士の傳記史實は幾度讀んでも面白いものである。然し乍ら維新〇〇志士は尊王攘夷てふ一つの政治思想を探つて動いてゐた事は事實であるにしても其れは今までの封建制度たる所の經濟組織、又は社會組織が社會の進化の浪に押れてゝある充分なる發達を遂げた後の自動的崩壞の域に進まんとして偶々尊王攘夷なる一つの政治思想——而してコレもあゝる『事實』によつて生れて來た所の思想——が〇〇〇〇に火を〇〇たる如く忽ち華々しき〇〇〇〇と化し去つたのであろ何時の時代の思想にしても『事實』の背景なき思想は早晩自然的に煙滅する。然し乍ら其の時代の社會意識に深く根ざした所の思想は容易に消滅して了るべきものではない。否其の時代の社會組織が崩壞して次に起るべき社會進化の必然的行程として新しき社會組織が成立し得ぬには絕對に其の時代の思想は消ゑ去らないのである。思想は『事實』である『事實』は思想の製造所である。社會主義思想又何ぞ此の例に洩れんやである。

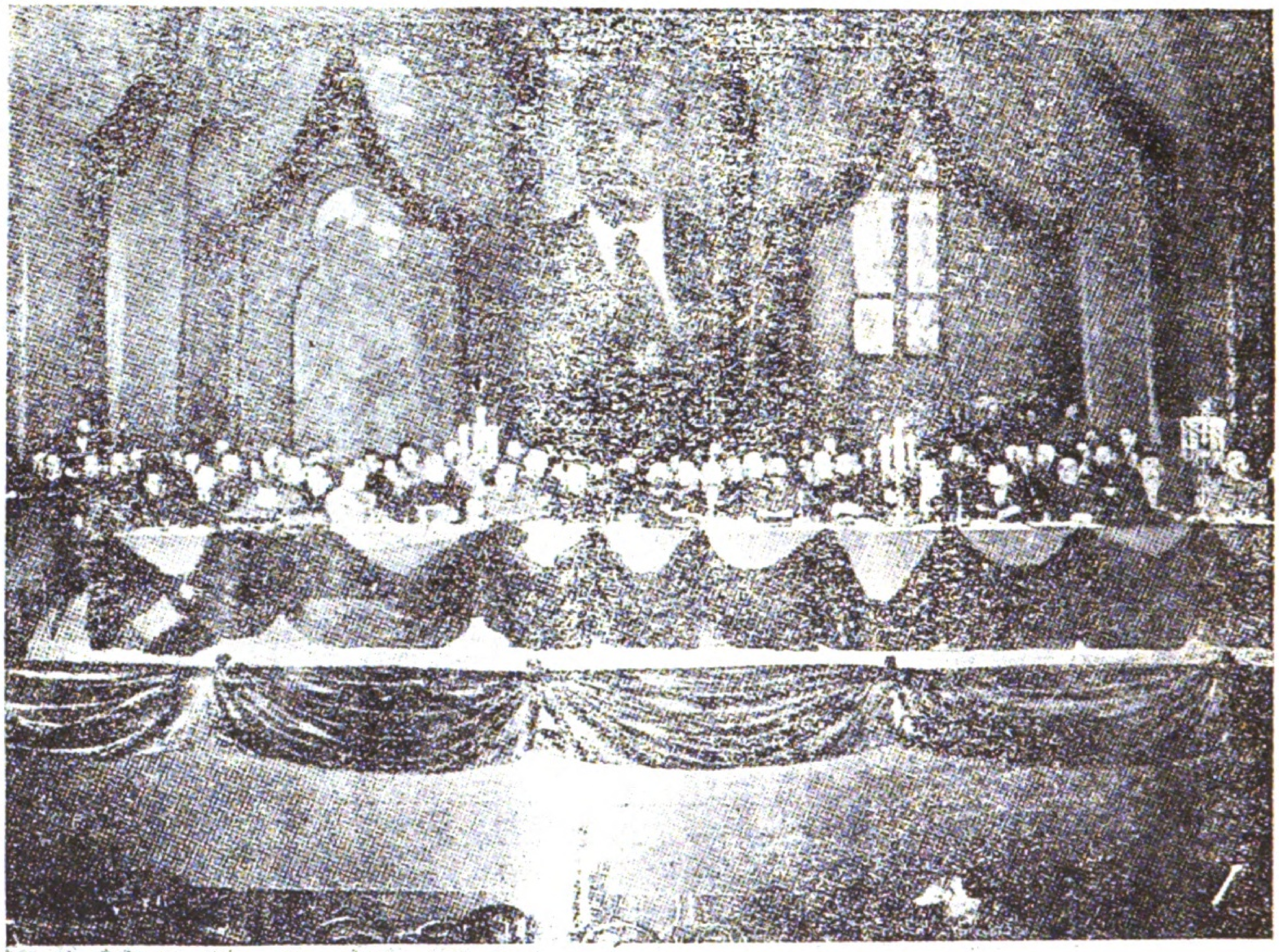
今や日本國內を〇〇〇〇てゐる社會主義は如何なる『事實』に〇〇〇〇れて來たものか。曰く、其れは資本主義てふ經濟組織に〇〇〇た所の思想に外ならない資本主義とは一概に云へば『〇〇〇爲に』〇〇〇行動するのである『儲け〇〇』には眼中〇〇〇く〇〇〇いのである。諸君は先づ社會主義を征伐する前に此の社會主義の母胎たる資本主義を知らねばならぬ資本主義とは如何なるものか？現在の社會組織——經濟組織——は如何なるものか？諸君は先づ敵を討つ前に敵の樣子を知らねばならぬのだ。諸君の渇仰措かざる明治維新の熱烈志士、吉田松陰さへも尊王攘夷を唱ゐてゐたが、外國を討つ前に敵の樣子事情を知らんが爲に乘船して外國に向ふとしたではないか。高杉晋作井上馨、伊藤博文等又然り。

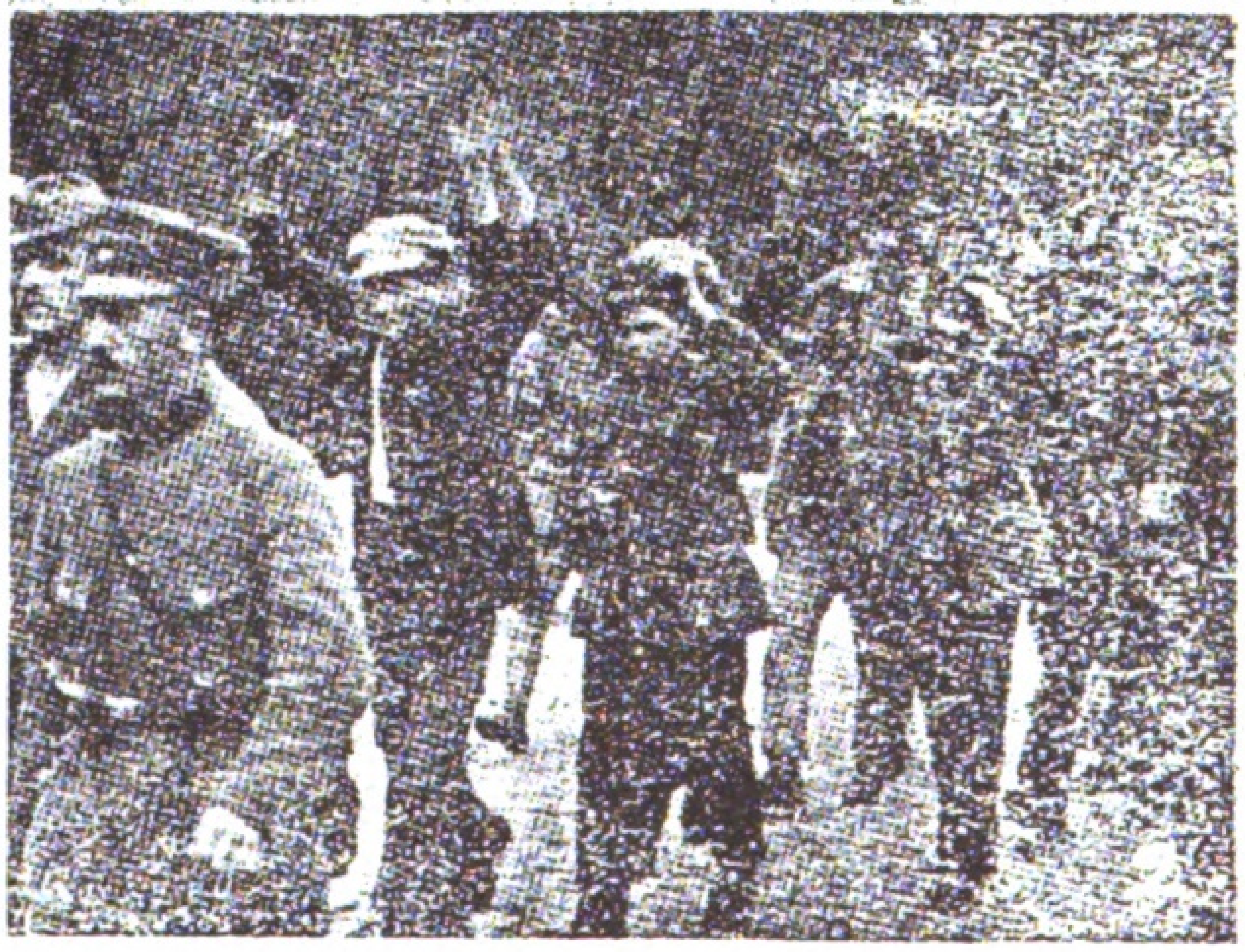
レーニンは青年に敎へて曰く『知るにあり』と、寔に然りである。知らずして物の優劣を批判し軋轢を判斷するは、盲者が象の形を當てるに似て失笑を禁じ得ぬものである。

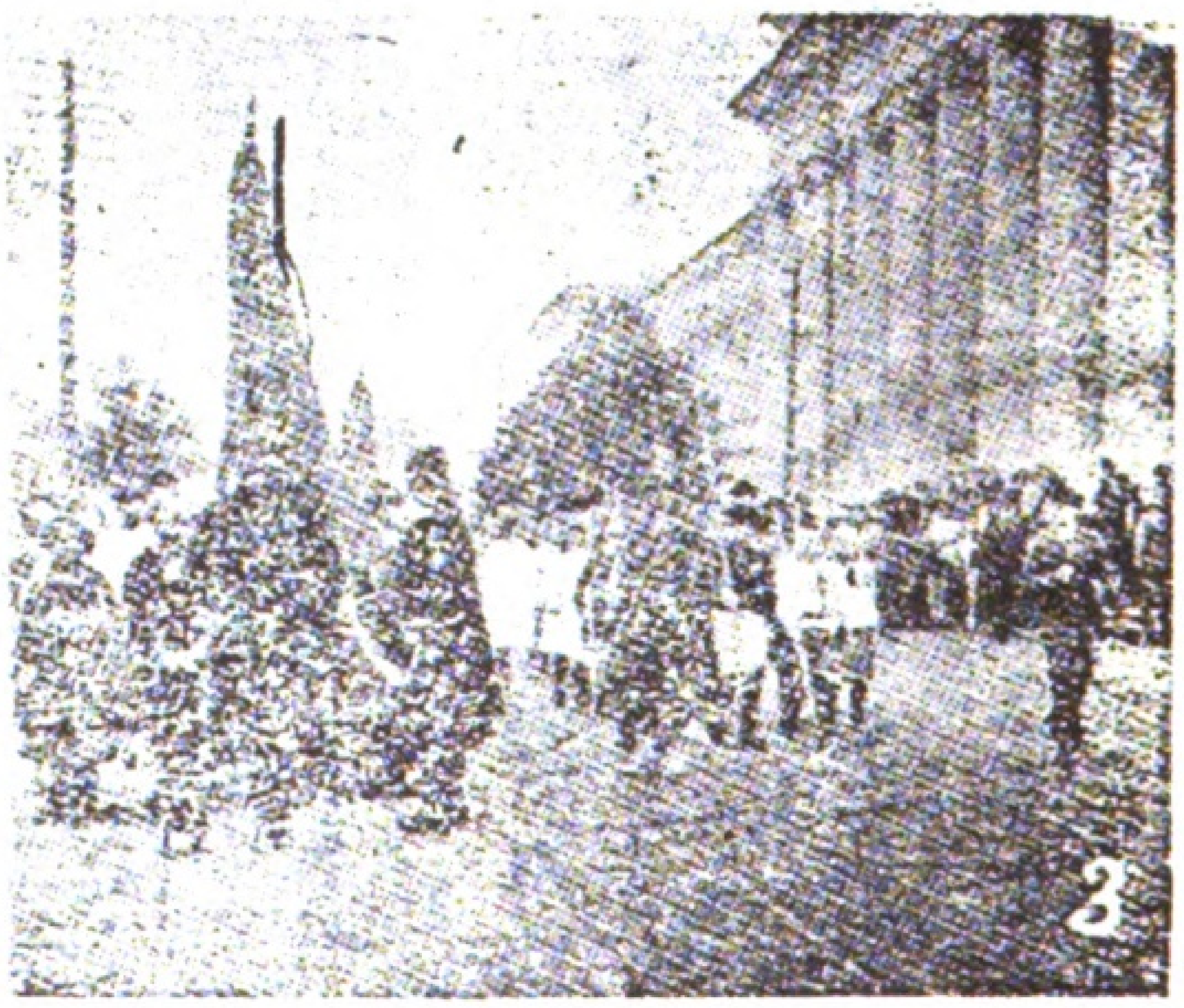
全國官製青年團員諸君よ！

諸君は先づ『知らねばならぬ』而し諸君の組織したる青年團の方向を考へねばならぬ。諸君の持つ劍の目的は果して何處かそれは只だ諸君一人が知るべきのみ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN







(1)　1924年モスコウに於ける第二回全露ソビエツト大會の終つたとき。（演説を満場に聴かせるため、テーブルの中央に置かれたミクロフオン（顕微音機）に注意せよ。）

(2)　反動的傾向が濃厚になつた最近の獨逸が白軍をして勞働者を監獄に連れてゆくところ。

(3)　この時に當つてロシアの青年が、レーニンの追はれたカザン大學の前で、獨逸青年に、激勵のため赤旗を送るところ

◎日本の勞働者及び農民諸君へ

都會及び農村の無產者諸君よ。諸君の國は今も尚支配階級の○○下に置かれてゐる。地主、軍閥、官僚及び資本家は、諸君のあらゆる○○○○○し、容赦なく諸君を○○○○○なる××を以て諸君を○○してゐる。

去年の九月大震災の起るや抑壓の度はます〳〵その威を加へ來り、一般民衆は不平と混亂の中に喘いでゐる。諸君の支配階級は現在日本を脅かしてゐる經濟的破綻を解決し、復興の大業を完成するの能力を全々缺いてゐるのだ。

諸君の支配者は、口には國利民福を稱へるにも拘らず、事實に於て彼等の求める唯一のものは、此度の國民的災害から如何にして最も多くの利得を獲るかと云ふことにある。彼等はその○○品を互に相爭ふのみで、諸君の狀態を改善す何等の努力をも爲さうとはしない。罹災民の大多數は、今尚ほ一時的の假小屋で、憐惨たる窮乏の中に生活を續け、失業者は數萬に上り。莫大の田地は荒廢したまゝに殘されて居る。

諸君の支配者はその國が米國の財政的權力の掌中に落ち、諸君をして更に外國資本家の搾取を蒙ることを餘儀なくせしめて、諸君の政府を國外帝國主義の手先たらしめんとする時に當つて、何等有効なる對策をも提出し得ないのだ。

彼等は、彼等の解決し能はざる難局に當面しつゝ、然も彼等を襲ひ來る興勢力を眺め、狂氣の如く彼等の權力を保持せんと全力を盡してゐる。

『危險思想』といふ幻影に脅かされて、彼等はこれを掃蕩する爲めに恐怖時代を現出せしめんとしてゐる。○○○○○の大仕掛な○○、龜戸に於ける日本勞働者○○○、近くは名古屋に於て勞働者に加へられたる○○○なる判決、並に來らんとする東京の○○○事件の公判——これらは彼等が無產階級の目的に向つて進まんとする○○○あると云ふことに○○○いのであるが——等すべて諸君の支配階級○××○○○するものだ。

しかし彼等はまた、一方で諸君を狡猾なる方法で懷柔しやうと試みる。若し諸君が資本家の集會たるゼネバの國際勞働會議に代表者を送り、知らずして搾取者の穽に陷るならば、彼等は諸君の組合に骨拔きの承認を與へるであらう。或は諸君自らの組合を麻痺せしむる勞働組合法案を以て、諸君に法律上の保護を與へ、または諸君の指導者を政府の官位を以て買收せんと試み、或は地主の利益を保護するため小作爭議調停法を作るであらう。そして普通選擧を[illegible]すこ[illegible]ら彼等自ら進んで之を諸君に與へるのではなく、彼等は諸君を檻の中に閉ぢ込めて置くためにあらゆる手管を用ゐるのだ。

遂に重要なのは、千九百五年の○○以前、○○○○○るツアルの政府に○○○（　）と○○○○○○と狡猾な手段を用ひたことである。しかしロシアの勞働者は官製組合を拒否し却つてツアルを○○て、彼等自身の統御を建設するために戰つたのだ。

都會及農村の無產者諸君！諸君は選擧權を有せず、失業に攻められ、飢餓を目前に見詰めてゐる。然も諸君の支配者は搾取と窮乏を增進させるほか何物をも與へず、抑壓によつて諸君を奴僕の境遇に止まることを強いてゐる。急進ブルジョアは改革のため鬪ふと見せかけて諸君の支持を得やうと試みる。しかし彼等はただ彼等自身の利益を求めるのみである。諸君は彼等に氣を許してはならぬ。

最近政府は議會を解散して國民の信任を問ふた。だが諸君は新しい政府を選ぶ資格を持たぬ。若し內閣の更迭によつて諸君の狀態がいくらかでもよくなると考へるなら諸君は失望するであらう。官僚、軍閥、地主、資本家の內閣は決して諸君の救ひにはならぬのだ。諸君は自由のため鬪はねばならぬ。反動運動を制禦して國家將來の發展を圖り得るものは獨り諸君あるのみだ。

諸君はよき戰鬪精神を示した。政府の○○にも拘らず諸君は勇敢に資本家地主の○○に對抗した。諸君は政府の任用を○○することを諸君の指導者に強い、その獨立を表明した。諸君は有害無益なる勞働組合法案を拋棄した。だがそれで充分とは云へない。諸君は更に反動運動の城砦に猛襲せねばならぬ。

諸君の力を政治的自由の鬪ひに結合せよ。勞働者及農民の政黨を形成すべく急がれよ。それに依てのみ諸君は自由のための鬪ひを導くことが可能である。だが諸君の政黨はブルヂョアの急進黨から獨立したものであらねばならぬ。

自由のため諸君のプログラムを押し進め、それを○○るまで○○○○。民主的政治、無條件にすべての男女の卽時普選の實施。團結の權利。○○○自由と團體交涉權、政治的意見の自由、集會の權利（官權の臨席なくして會合を開く）出版言論に於ける勞働階級の眞の自由を要求せよ。また同時に、經濟的要求をも忘れてはならぬ。諸君の勞働組合を結合し、未だ加入せざるものを組織し、○○に向つて法制上當然の○○◎を承認せしめよ。

日本の勞働者及び農民諸君！　名古屋に於て諸君の同志に加へられた不合理なる判決は軈て來らんとする、東京群馬其他の地に於ける事件に就ても亦、政府が同樣の處置を諸君の同志の上に執る事を物語るものである。記憶せられよ、斯の如きは政府が諸君の運動から最も活動的な、思想的分子を引き拔き、大衆を無指導の狀態に殘して諸君の戰列を崩壞せんとしてゐることを示すものだ。

（以下五行削除）

諸君自身の○○○作り、自由のために○○。地主、軍閥、官僚並に資本家の○○○○せ。光榮あれ勞働者及農民の解放に

（一九二四、五、六）　國際共產黨中央執行委員會

二つの陣地

權藤誠子

『婦人參政權問題ですつて？そんな事なんかどうと云つて、別に考へてる方なんか有ますまいね』

『ねゝ全くよ。私なんかにした處で、そんなものは、ちつとも欲しいと思ひませんわ。興味もない事に責任ばかり重くされてね、あなた』

『私たちがそんなものを貰つても仕やうがありませんわ。男だけの選擧でも、うるさくつてイヤになつてしまひますもの』

『さうですね、普通選擧と同じやうに日本ではまだまだ早くはないでせうか。ねね、進んだ方たちの御意見は、やはり尚早論のやうですわ』

これは、ある婦人の小集の席で交された對話である。私は隅つこで默つて聞いてゐて、覺わず長嘆息した。

この人達は、皆高等女學校卒業の上に數年間の專問教育を受けた人達で、なかにはアメリカの大學を卒業して來た、學位ある人も二人ばかり交つてゐた。私は、彼女等の帶の間や、胸のあたりに、金とかプラチナとかの細い鎖を見た。水仕事をしない、しなやかな指に、寶石の光を見た。そしてこれら相當に自分の智識にプラウドをもつ若い婦人達が無知と侮つてゐる其處いらの女たちと同じい隷屬の安さを樂しんでゐるのをあさましく思つた。

これ等の智識的婦人――私は彼女等の卒業證書に對して、敢へてこの尊稱を捧げる――は、かの參政同盟のブルジョア新婦人とも又別個のグループである。

日本現代の婦人界と見渡すと一種の活人畫が、歷史的縮圖を作つて居る。『女大學』そのまゝを體現した封建時代式の『御臺所』も未だ數としては少からず殘つてゐて、其古色蒼然とした趣は、多くの舊い男子から賞美されてゐるし、其側には、ルツソーの目に映したような、玩具的婦人が、美々しい裝びと、なまめかしい嬌態を見せてゐる其處へ、スチユアート、ミルなどから呼び覺されて起ち上つた婦人、起きかけて居るそれらが前者と全然違つた。生彩を以て輝いて居る。そしても一つ隅の方に、黑幕でおほはれてゐる一群がある、それは至つて少數で又甚だ美しくはない、けれども彼女等は一人一人、緊張した眞面目な顏を〇〇の下に集めてゐる。云ふまでもなく無産婦人の一團である。前二つは靜止してゐるが、あとの二つは働いてゐる、戰鬪的である、しかもこの二つの陣地は、全く別で、又何時になつても合同の要素をもたないものである。

極東の孤島に、より長く封建制を保つて來た日本は、從つて資本主義の發展もおくれて居た。大戰前までは、その爛熟期と名づけるのには、いまだ早い觀があつた。それにつれて無産者の自覺も運動も、唯少數者の間に限られてゐた。けれども、こゝ數年資本主義は次第に爛熟の域に進んで來た。大戰時の好景氣のあとには、世界的な經濟的恐慌が押よせて來て、甚だしい貧富の懸隔、失業、饑餓――言ひかへれば階級の對立が漸く明確になつた。ここに昨秋の震災は凋落すべきものを、より速く凋落させると同時に、少數資本家による資本の集積はいよ〳〵鮮かになつて來た。從つて又無産者の運動も大衆化とまでゆかないまでも、大衆化すべき勢を示して來た。

現今無産婦人の運動は、十年前の無産男子のそれを思はせる物がある。性を多うする多數婦人の生活を見て、前途の果しなさをなげく落膽は自分等と同じ認識に死生の間を突破して來た無産男子の陣容を見渡して必勝の勇氣に勵されるのである。

私は參政同盟の新婦人方に、大の敬意を表するものである。黃金と寶石の驕奢のうちから、劇と音樂の悅樂のかげから、兎にも角に、隷屬の安さをよろ、婦人の權利獲得のために奮起した、尊敬すべき[illegible]女等である。そして又、狂人白[illegible]供と一緒に、政談演說の會場から追[illegible]はれて居た婦人の爲めに治[illegible]五條に成功した彼女等である。

とは云へ、ブルジョア、デモクラシーは、到底ブルジョアの物である如く、ブルジョア新婦人の運動も、私達と何等の接觸もない財產を背景にした婦人代議士は選出せられやうとも、無產婦人は、やはり同じ搾取、同じ壓迫、同じ窮乏を繰返すに過ぎないであろう。

幾多の政治的遊戲のあと、護憲三派といふ美しい名の聯立內閣は出現した。私共は美しき其名に憧がれるほどに詩的にはなり得ないが、唯一つ彼等の唱へる普選案には、多くの興味を持つものである。私は獨逸の政治年表を繰ひろげた、そして其處に、明かな數字で示されてゐる社會民主黨の得票數を見た、云ひ知らぬ希望は私の胸を波たゝせた、同時に私どもは來るべき『時期』を善用すべき充分の心用意の必要を感ずるのである。實に今は、私どもにとつて最も多忙な、一刻もゆるかせに出來ない準備の時であるまいか？

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

なぜ失業するか
―團結せよ組織せよ―

山口實

【一】解雇

『俺は首を切られた、どうすればいゝだらうか？』と諸君は失業の苦しい經驗を持つてゐるであらう。また『俺は近々に首を切られそうだ』と、諸君は目前に起つてゐる、避けがたい恐怖を持つて居るであらう。

其の樣な不安に對して、諸君はどうすればいゝだらうかと、考へない事は無いだらう！失業と言ふことは諸君自身の問題だ。君は靜に考へる必要がある。

失業……失業、實に勞働者にとりて惡魔だ。然し乍ら勞働者が資本家の奴隷である以上、そうして勞働者が勞働力を資本家に賣つて、勞銀と云ふ僅の報酬を受て居る以上は、資本家が諸君をいつでも解雇する權利を持つて居る。諸君が資本家の所へ稼に行つて、賃銀を受て居る間は、その資本家は諸君の生活手段の鍵を握つて、諸君の生命を與奪する權利も握つて居るわけである。だから諸君をすぐ首にしても資本家は痛くも、かゆくもないのだ。首を切つた勞働者の代りは、他から百人でも千人でも雇ふことが出來るからである。このために勞働者は資本の鐵鎖によつて、手足を堅く縛られて居ることを知り得たであらう。

【二】せぜ失業が出來る

そこで、どうして一體俺達は失業するのか？と諸君は疑ひが生じた。それは斯うだ。一、大資本に驅逐された小資本家の沒落によりて生ずる失業。二、新式の機械を設備することによりて餘剰勞働者を出し、それは機械が一般の勞働者に代るからである。三、經濟界の恐慌による事業の中止、又は生產額の半減によりて悲惨なる馘首をなさしむ何。百萬の勞働者を街頭に餘剰勞働者卽ち產業豫備軍として吐き出すのである。資本家は萬人に仕事を與へ、萬人に物品を供給せうなどゝ、殊勝な人道的な考へは藥にしたくとも見出せない。奴等は利潤――利潤だ！そうして己の財產の增大をはからねば成らぬと、だから勞働者が最早や前のやうに、多額の利潤を生まなくなると遠慮なく首にして了ふ。四、斯くの如く生活の不如意は妻子を勞働者の群に投ぜしめた。此事は新しい安い賃銀で雇ひ得る婦人勞働と幼年勞働の二勞働を生ぜしめた資本家がこの安い勞働軍を雇ひ入れるに至り、高い賃銀たる諸君は不用となつた。虛弱な子女はとても男子の勞働に代ることが出來ないと、安心して居た勞働者は、いつしか裏切られて機械の改良は、潮の如く子女を勞働に投ぜしめた。この婦人、幼年勞働は諸君をしばしば失業に苦しめるに至つた。家庭の生活を救ふべき筈の婦人、幼年勞働は間もなく勞働階級の家庭を、破壞するに至つた。

彼の女自身等も亦男と同樣に屢惨めなる失業に遭はねばならなくなつた。今日では彼の女も男子と同樣に工場より逐ひ出される。そうした苦しみは道德的墮落に陷り、昨日は東に今日は西へと漂泊しつゝ街頭に春を賣る。

斯の如く諸君達が澤山失業せば、資本家は喜ぶ、なぜか？澤山の失業者の中から諸君を一番安い賃銀で雇ひ直し、そして諸君の五體より、より多くの財貨を搾り取ることが出來るからだ資本家の振り上げた、威嚇の鞭の下に小羊の如き哀れな奴隷の姿を諸君自身で見られるだらう

【三】對抗する方法

貧乏人を威嚇する鐵鞭に對抗する方法はないだらうか？失業した時に、工場や鑛山で負傷した場合に、充分な手當を請求する方法は無いものだらうか？諸君よ、心配する必要はない、玆に簡單に立派な方法があるのだ。

諸君が隣で共に働いて居る兄弟に、君の苦しい生活や將來の事を話して見ろ。すると友は必ず『俺も實はさうからその事を考へて居たのだ』と答へるだらう。そこで諸君は一人の同志を得たことになる、斯くして諸君の働いて居る工場の、全部の勞働者が團結して、一つの組織を持つことになる。これで諸君は資本家に對抗する準備が出來たのである。

生活標準の向上に努力し、勞働條件の改善に邁進し、勞働階級解放のために、諸君は資本家に要求を提出する。諸君達が如何なることを要求したつて、其は正しいのだ。斯の如く賃銀の値上、工場內の衛生、勞働時間の短縮、公休日の制定とか種々の問題を、雇主の鼻先につきつけて交涉した場合に、必ず資本家と爭ふ必要が生ずるであらうその結果諸君等は勞働階級の地位擁護のために、ストライキをやる。或はそのストライキが長引くかも知れない。この意味からしても諸君は、諸君の工場內の團結以外に他の工場の澤山の勞働者が必要である。それは日本全部の勞働團體の應援を背後に持つことは、それだけ諸君が其爭議に勝つことが出來ると云ふ大なる利益があり且つ、策戰上にも經濟上にも必要なことで

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

あらう。だから諸君が工場内の兄弟と團結し、組織が出來上つたならば、總同盟に加盟して置かねばならない。

【四】恐れるな!!

諸君の工場には既に組合が組織されてあるだらう。さうして現に諸君達は罷業しつゝあるであらう。資本家は罷業を切り崩すために種々の壓迫を加へつゝある。だが、僅かそれ位に屈じてはならぬ、諸君が資本家の足下に屈從することは、僚友を賣ることに等しい!!

或は諸君の工場内に組合が組織されて居ないならば、直ちに組織に努力を費さねばならぬ。そうして諸君の工場に團結が出來て居なければ、諸君と同じ職業的勞働組合に先づ入會するのだ。そして諸君の働いて居る工場内に組合が作ることを、直ちに運動せなければならない。だが諸君等兄弟の中で組合に這入ることを恐れる者がある。それは資本家や、御用學者や、資本家の手代や、司法者が諸君を威嚇する凄文句に、恐れて居るからだ。

何故君は恐れるのだ!諸君は絶對に恐れてはならない。彼等資本家や手代共が何んと威嚇せうと、惡罵と攻擊の目標とならうとも、諸君は勞働階級の生活向上のために、孜々として戰陣に進撃せなければならない。

【五】確く團結せよ

諸君等は弱氣を出してはならぬ。諸君等が弱い態度でどうして、無産階級の眼前に横はる、賃銀の鐵鎖を斷つ事が出來るだらうか?諸君には兄弟も姉妹もあるだらう。或は幾人かの可愛い子供もあるだらう。彼等幼い子供は資本家社會が作れる學校に行く、或は教會に、科學に文學に哲學に、いづれも精神を腐敗せしめられ、やがて諸君と同じ運命の下に、又資本主義の鐵鎖につながれるのだ!!

諸君よ!協調主義に迷はれる勿れ、勞働階級と資本家階級とは、幾千萬年を經るとも、相互の利害は相反する、吾々勞働階級は、彼等資本家の私有財産を全べて、國家に返還すべきを迫るものである。而してあらゆる生産機關を資本家の手中から○○下に○○すべきである。

そこには資本家もなく、賃銀の鐵鎖もなく、始めて無産階級の幸福の光りを迎へ得る——斯くして賃銀の鐵鎖は必然に倒れる。即ち資本主義は必然に倒れる運命を持つ。然し棚からボタ餅は絶對に落ちて來ない、吾々は團結せねばならぬ。團結することを忘れてはならぬ。多くの兄弟を組合に導き入れて大衆の教育を授けるのだ、そこに階級鬪爭の焰があり、而して吾々が必然に鐵鎖を切つてこそ、始めて資本主義は倒れるのである。

諸君よ、組合に是非とも加入せよ、なぜ組合を組織せないのだ。それは諸君自身の爲めであり、老ひたる兩親のためであり、さいなまれる姉妹の爲めであり、餓死に面せる大衆の兄弟のために——恐れることなく、團結せよ!組織せよ!

同志高尾逝いて一周年今彼れを追憶す（福田狂二）

松蔭か、平兵衛か

■幕末の志士吉田松陰をして今日に生れしめば彼は必ず社會主義者となりて無産階級戰鬪の歴史に眞紅の血を染めしならん。又吾が平兵衛をして維新前に生れしめば彼は必ず間部詮勝を○○んと計りしならん。

■平兵衛も松陰も時こそ異れ、もゆるが如き慨世愛民の情、等しかりき。其の經歴の相似たる其の事業の相等しき、その資性の相似たる、其の最後の相等しき、予は實に彼等の共通點多きに驚愕の眼を放つものなり。

■吉田寅次郎は幕府の小吏を刺さんとして捕はれ、高尾平兵衛は反動の一壯士を脅迫して殺さる、彼の大人物にして、かくの如き一小人に其の未來ある生命を捨つ、予は實に痛恨慷慨、歴史○○○○んと欲して止まざるものなり。

■松陰は松下村塾に於て幾多の志士を養成せり。平兵衛は勞働社に於て官憲迫害の中、刻苦勵精、幾多の社會運動闘士を養成せるは寧ろ前者より勝れたりと謂ふべし。

■松陰は亞米利加に密航せんとして失敗し、平兵衛は巧に露國に走りしは、其の機敏寧ろ松陰に勝れりと云ふべし。

■其の門弟、逸才高足輩出せしは平兵衛の遠く及ぶ所にあらざるなり。然れども余は兩人の優劣を論ずる能はず、高尾に勝れたるあり松陰に勝れたるあり。

■余は今再び此兩人を想ふ。其の人物事業の相似たる、其の沒せし齡の相同じき、嗚呼、千古萬古、又この二者の如きはあるべからざるを思ふ。

■事半にして斃れ、革命を見ざりし此兩人は今地下に於て握手せるならん。

■誰か云ふ、彼をリープクネヒトと、されど彼は名門の出に非ず、又世界的政治家にも非ず、吾友平兵衛は吉田廿一回猛士の如き大革命家なりき。

■今、日本の社會運動者、書を讀む小人多し。而して所謂殺身爲仁者絶へてなし。此時に當り吾れ、平兵衛を憶ふて止まず。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

全土戰報

九州三池炭鑛爭議に就て

HF生

東洋第一の炭鑛と云へば、この三池炭鑛を指すのである。其規模の宏大なると勞働者の數の多い事と、炭鑛當事者の壓迫的態度とは有名なる事實である。云ふまでもなくこの三池は富豪三井王國の金庫で、その全力を盡して經營するところである。然し炭鑛創業以來三十有余年未だ嘗て爭議らしい爭議を見ないのであつた。然るに今や正に全山二萬七千人の勞働者擧つて階級鬪爭の雄叫びに三井王國の土臺石を搖り動かして居る。

爭議の起りは五月廿一日頃であつた。當炭山に屬する機械製作所の職工千五百人が（一）臨時手當を無斷にて撤廢したること（二）能率增進を目的とする懸賞の歩合が減縮されたること（三）年四期に値上げする筈の賃銀値上げが不徹底なること以上の理由により職工の收入は三割方減少してゐるに拘はらず會社側は職工の貯金を倍額に無斷強制徵收すること等によつて同盟怠業を初めたのである。延いて直隣の亞鉛製煉所、染料工場に波及し、今や同炭鑛に屬する、勝立、宮ノ浦、四ツ山、萬田、大浦の諸炭鑛皆結束を固くして罷業するに至つた。僅かに殘つてゐる宮ノ原の炭鑛も玆數日中に加はるであらう。

坑内排水作業は坑山にとつて致命的の打擊を與へるものであるが、會社側では理論に通じた技師連でも間に合はず、筑豐炭坑より應援者を求めて辛うじて運轉してゐる有樣である。

今や一箇年約二百萬噸、一箇月約十七萬噸、一日約六千噸の出炭高はその十分の一に減じてゐる。會社側は表面上頗る强硬な態度を持續し、罷業職工の要求條項六件の内、一項も容認せず尚この大爭議を續けるにおいては、主謀者と目せられる數名の職工を解雇すべく、又罷業職工の全般に亘り十五日出動せざるときは出動の意志なき者と看做し相當の方法を講ずべしとて高壓的に出てゐるが、内心少からず恐怖し、焦慮してゐるのは事實である。

彼等は平素あらゆる方法で勞働者を苦しめて居た。古き事はいはずとも、最近の出來事を一例にして見やう。この間、勝立炭坑の勞働者や、坑内に運ぶ機具類を搭載する箱を昇降する繩が切れて、數人の死傷者を出した事件がある。この原因は、炭坑側とすればいろ／＼ぬかすが眞の原因は同炭坑とは因緣淺からざる政友會○○某と云ふ代議士を當選せしめんため、社員にして選擧權を有する者全體を狂奔せしめ、其の當然爲すべき職責を怠つたことにある。

其他同炭坑の上級社員は自家用に炭坑夫を使用する。又坑内の婦人勞働者に對して極度の侮辱を加へる。或は坑内で壓死した坑夫を負傷若しくは過失にて死せし如くして其の死者及び家族に對する當然の慰藉料を輕減する。これらの事實は山程ある。遂に堪へ切れずして勞働者は起つた。去月中旬から其の間中斷はしたが今日まで、實に涙の出る程眞劍に鬪つて來た。老若力を協せて手に手に爭議團行商部の旗を持ち大牟田を中心に十里四方の遠くまで活動をつゞけてゐる。然るに一方炭坑當事者と氣脈を通ずる犬共は之れに對して市内及び附近に散在する小商人を脅威するとなし、ありもせぬ團體の名を以て、爭議團に就業勸告及び行商謝絕等のポスターを配附してゐる。

官憲は三井の利益を保護するために存在してゐるやうなもので、大牟田市は炭坑側の贊成なくしては、何事をも決定する譯にゆかないのだ。寢食を忘れて鬪いつゝある勞働者はこれらの强敵と相對してゐるのである。

北海道の新運動

山名信義

荒狂ふ北海の天地も、何時か去りて、あらゆる生物が黒土を破つて芽生へる時に當り、過日行はれた政權○○の總選擧は、醜惡露骨なる猛烈さを示してゐた。

論ずる迄も無く、彼等職業的爲政者は、吾等無産階級の○○○○し、大家高樓を築き口には大言壯語、眞理は只々自己あるのみ、將又それらにつきまとふ分子も然り。凡て己れの選擧の利害より打算して奔走しつゝあるではないか

しかし此の僻遠の北海の農村と雖も有權者が現在の政黨及び爲政者を斷じて信頼出來ざる物と云ふ現象が非常に濃厚になつて來た。

此處に於て、吾々無産階級自身の鬪爭のため無産階級の政黨樹立が層一層急務になつて來たのだ。

如何にしても、吾等無産階級の團結に依つて政治上の○○を○○せずんば吾等の終初要求しつゝある第二の社會の建設運動も水泡に來たすのではなからうか一時先輩に見捨られた北海道も無産階級政治運動には可能である歸道せる先輩達が献身的活動しつゝある事は無産階級の吾々は、實に感謝せざるを得ない賢明なる諸君！團結して政治上の權力を獲得し、第二の社會を建設しようではないか。

長野の檢擧

飯田　坂上廣慶

今更ら今度の長野事件等書いては古いかも知れぬが、今迄に僕より の先迴が書くと思つて、我慢してゐたが、書きそうでないから檢擧事件の樣子を書いて見やう。

僕達の機關紙『第一線』は六回發行する内二回丈發禁を免れた許りでそれも要所は削られてヤツと發行出來た位であつた。今度第六號を發行して少し經過すると萬朝報と云ふ資本家の提灯持ちがワザ〳〵飯田迄記者を特派して既成青年團壯年團や僕達を一所に考へてヘンテコな記事を第一號活字三段拔きその書き振りが奮つてゐる。曰く『信州飯田を中心に恐ろしい秘密結社』云々、こうなると世の中の反動團體得たり、賢しで大騷ぎ、糅てゝ加へて丁度上飯田小學校が全燒した。放火の疑ひありと教員小松と云ふ失戀男を引ッ張つて來た。世の中は面倒だ、小松は無政府主義者だ、自由聯盟と關係ある、危險思想の所有者だとか云ひ出した。當地發行のS新聞社の記者二名は吾々の同志であつたから、社會の流言を否定した。そして僕達に好意をよせてゐた。然るにN新聞は自動車で號外を發行して下伊那の青年か皆檢擧される樣な事を書いて一層下伊那の天地を騷がした。その内に某縣議が出縣して小松は社會主義者で關係者多々ありと御進告に及んだ、知事閣下直ちに縣下へ命令して縣警察部長檢事、檢事正と凡ゆる本縣の精鋭を引いて來飯した。それ前にS新聞社の記者（編輯長某で吾々の同志が十六日頃に家宅搜索でもやつてもう直に檢擧するだらうと豫言した。警察では泡を喰つて署内に主義者のスパイがあると騷ぎ出し可愛相に巡查某はオツポリ出された。警察ではおどろいて一日延期して十七日に八方へ自動車をとばして一臺に二十名〇〇がのつて一人の青年を檢擧するのだ、如何に奴等が騷ぎ出したか判る。十七日夜迄に十數名十九日夜に到れば二十二名狂的な無鐵砲なポリは無關係の者迄引ッ張つて社會の反感は益々つのつた。引ッ張つて來て『聯盟の内部に秘密結社でもあつたらう』とマアこんなものだつた。

未決にゐる同志は實に元氣で痛快な話しが度々S新聞に報道された。彼檢束者以外の同志は駐在所へ呼び出されて始末書を書かされた。此處へもポリが十名位ゐた。その取調べの一節が面白い一寸書くと、

『オイ君達は第一線を何部持つて行つた、そして何處々々で何部配つたと云つたから檢束された〇〇君がさう云つたから確かだ。君達も本當に云はんと爲にならんぞ』聞いてあきれる、同志は『白狀してあれば聞く必要はないよ』と『何を吐かす、目上に向つて貴樣達は行儀が惡い、そんなッマラヌ本を讀まずと行儀作法の本でも讀め』ハヽヽ、馬鹿野郎達は何處迄行つても馬鹿だ。僕達の先輩は直ちに扶助會を組織して、僕達も直ちに八方へ奔走して現在では食物の差入れ防寒具の差入れに活動してゐる。又一方第一線發行を此際ここに發行する事を決議して本月末迄に發行する樣今努力してゐる、警察では檢束後の處理策の第一節曰く

署長『檢擧はしたが、未だ若い坊達だし、嚴刑にすれば出獄後暴れるし、輕ければ增長するし困つたナア』だつて一寸おかしい所だ。

此後の下伊那は反動團體に依つて一變された。青年會も反對派の占領となり、各所に脫退させるか否かの問題が起つた。比較的思想的に發達したと云はれる下伊那が斯の如くである、もつて各部市が思ひやられる。そして今迄に二三回反動團體の發會式を上げんとしたのを僕達がブッツブした。所が斯なるとだまつてゐない。遂に國粹會の支部發會式だ。世話人が縣議の大橋京之助と云ふバクチ打ち此が又厄介な野郎でフトコロに短刀を入れて到る所に亂暴を働いてゐる。然し警察では無言でゐるのだ、如何に奴等が呼應してゐるかが判る。上伊那の桑原小作爭議も短刀にジユウリンされた小作人は短刀の前にフミつけられたのだ。然し同志の入獄と奴等の共同策戰の前に、武器と自由のない我々は彼等にジユウリンされるより仕方がない。けれ共如何に奴等が盛んなりとも歷史の廻轉を止める事は出來ない吾々××前衛には緊迫がある、然し何時か近い將來にたゝき潰してやるのだ。

日向の無産運動

美々津　木田弓二

その昔大和民族の住地であつて、後に弊履の如く見捨てられた我日向は、何時の時代にも一番尻から引ずられて來てゐる。

若いものは床屋へ集まつて馬鹿話に耽つたり煙草を吸うことを稽古し茶屋酒飲むことを得意としてゐる『少し氣の利いたやつだ』と思ふ樣なのは官製青年團の模範青年樣、雄辯術があれば現代の頽落し切つた宗教を説き死んだ道德を說き在鄕軍人會長の訓示を拜聽する輩だ。時に大童になつて駈ずり廻ると思へばブルジョア代議士候補者のお先棒を勤むるの光榮に浴するのが關の山。これが日向の現狀だ。

然しドン尻の法則の支配に洩れず他の地方の隅々まで新思潮にドサ〳〵洗はれる樣になつたので日向の地にもぼつ波〳〵が打ち寄せ始めた

資本主義は農村に喰込み初めた、門川を筆頭に延岡方面へも勃興した、

日向の青年諸君起たうではないか小作人諸君の生活が苦しいのは何が爲めだ皆地主資本家が掠奪するからだ、吾々はそれに對して猛烈な鬪爭を開始しなければならぬ。そして必勝を期せなければならぬ。

小作人諸君團結せよ。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

社會主義研究

社會主義問答（二）

—科學的社會主義概要—

此處に譯載する一文は米國に於て勞働者、農民等の初歩の社會主義研究者のためにその研究の臺本としてワシントンの社會主義團体に依つて編纂されたるものであつて科學的社會主義即ちマルクス派社會主義の根本思想を諸原書から大摑みにしたものである

石川準十郎

剰餘價値説

【一七】剰余價値

問 剰餘價値とは何んぞや、簡單に説明せよ。

答 簡單に言ひ表すならば剰餘價値とは、勞働階級が財物の生産に使用せる勞働力の代價として賃銀の形で受取る所の價値と、資本家階級がその財物を賣つて收得する價値との間の差額を云ふ

【一八】剰餘價値と資本主義社會

問 既に經濟的原因が社會變化の決定的原因であるからには、剰餘價値の法則は我々に何を敎ゆるのであるか

答 「剰餘價値説は現社會の全經濟組織説明の鍵である。資本主義社會の究極の目的はこの剰餘價値の形成及び蓄積にある即ち換言すれば勞働階級を組織的、法律的に強奪するにある」

【一九】價値の形成

問 價値を定義しその如何にして測定せられるかを説明せよ

答 價値とは、平均標準條件の下に於て財物の生産乃至再生産に社會的に必要なる人間勞働時間の平均量である。

【二〇】勞働力の價値

問 價値は勞働量に依つて決定されるならば、その勞働力の價値を決定するものは何んであるか。

答 他のあらゆる財物と全く同樣にして決定される。即ちその勞働力の生産乃至再生産に社會的に必要なる勞働時間量に依つて決定される。

【二一】勞働力は商品

問 勞働力を商品としたら、それは如何なる條件付きに於てゞあるか

答 それは他のあらゆる商品の依つて居る條件と全く同一の條件に依るものであつて、其の間何等勞働は凡ての價値の源泉であると云ふ事實に關係しない勞働力と云ふ商品を自己の内部に體有して居る勞働者は彼の勞働生産物の價値即ち彼の勞働が生産しただけの價値を受取るにあらずして、單に彼を勞働生活の中に維持し且今後の勞働力を再生産するに十分なだけの價値を受取るのみである若し勞働者が彼の勞働生産物の全價値を受取るならば、彼は彼を勞働生活の中に維持し且今後の勞働力を再生産するに十分であるよりは、遙かに多くの價値を受取るであらう。隨つて經濟的及社會的組織を勞働階級の利益になる樣に轉化することに依つて斯る經濟的條件を樹立せんか剰餘價値乃至利潤存在の餘地は無くなる。隨つて又資本家階級存在の餘地も無くなり、階級鬪爭は此處に終りをつけることになる。

【二二】剰餘價値の体現

問 過去及現在に於て如何なる經濟制度の中に、この剰餘價値即ち無報酬勞働が現れて居るか

答 現在に於ては實に賃銀勞働制度がそれであり、過去に於いては有體動産的奴隷制度及び農奴制度がそれであつた。

【二三】搾取の三制度

問 過去及び現在の社會制度が其上に基礎を置きし所の三大經濟制度なるものを擧げよ

答 （一）有體動産的奴隷制度（二）農奴制度（三）近代賃銀制度

【二四】搾取の歴史

問 各時代に於て被支配階級が如何にして搾取せられしかを簡單に説明せよ

答 （一）奴隷制度の下に於ては驢馬や馬と同樣な有體動産であつて、彼は單に『飼料』即ち彼自身を勞働生活の中に維持し勞働力を再生産するに必要なだけの衣食住を辛うじてあてがはれたにすぎなかつた。而して

檻房雜詠

神戸聯合 森本生

盜みの話、女郎買の話やせたる頰をもてる大賊。

○

泥棒はやめられないさ言ひし彼「このいゝ腕を持てるが故に」

○

○深く―○○せよ―と刻みたる友の文字の殘る壁かな。

○

五十日あまり、さゞされしてふ大賊と、共に暮した十月の末

勞働者の歌

大阪造勞 長谷川壽松

○

ひと筋に只ひと筋に進めかしプロレタリヤの鐵鎖斷つまで

○

友は云ふ俺らが天下とつたなら彼奴らに肥料を汲ませんずなど

○

金時が火事見舞のやうな顔をして地團太踏んでるお役人かな

○

これだこれだこれで天下をとるんださテーブルたたく腕の太さよ

○

彼一つ吾が頰打たば二つ三つ打ち返へさんずはた足蹴にも

○

今にみろはね面かくなその時は千萬倍の御恩返さん

○

安治川の流れを京に返さんさジタバタ騷ぐ反動主義者よ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

彼の生產せる全部は主人に依つて領收せられたのである。(二)農奴制度の下に於ては勞働者は彼自身を勞働生活の中に維持し勞働力を再生產するに必要なだけのものを生產した。而してその外に別に彼の殘りの時間で封建地主のために生產したのである。(三)賃銀制度の下に於ては勞働者は矢張り彼自身を勞働生活の中に維持し今後の勞働を生產するに丁度必要なだけのものを受取るにすぎない。彼の全勞働生產物は資本家に屬する。資本家はこの全生產結果の中から、勞働者の勞働商品に對して賃銀を支拂ひ、又原料等の他の商品に對して支拂ふ。而して殘りの全部を自己の所有とし、更に之を資本に轉化して以て勞働者の搾取を續けるのである。

階級闘爭說

【二五】階級闘爭

問　「階級闘爭」とは何んぞや　定義せよ

答　二つの階級利害間の直接衝突である。そこでは傭主階級は勞働階級の生產せる富を出來るだけ多く占有しやうとして全力を盡し、勞働階級は又自己の生產せる富をより多く取返さうとして抗爭する。卽ち資本家はもつと多くの剩餘價値を獲得しやうと努め、勞働階級はもつと多くの賃銀を獲得しやうと努める。

【二六】階級意識

問　「階級意識」とは何んぞや、定義せよ

答　勞働者の階級意識とは階級としての彼等勞働者の利害が資本家階級の利害と全く相反して居ると云ふ事實を意識して居ることである。

【二七】階級と國家

問　階級闘爭に於て國家は如何なる役目を演ずるや

答　「〇〇は一つの階級機關である、階級分化に因つて人間社會に發生し且つ維持されて居る所の公然の〇迫力である。卽ち强制力を背後に持つて、法律を制定し租税を徵收する力である。」故に國家は支配階級が勞働階級をして自ら階級の利益に服從せしむるために使用する所のものである。而してそれは又勞働階級が自ら階級の利益のために社會の經濟組識を變へんとする時、阻止するにも用ひられるものである。

結論

我々は以上に依つて既に、社會は進化の法則に從つて、成長するものであることを知つた。我々は人間の諸階級の活動の因つて起る條件及び原因を指摘した。而して今や我々は社會進化の階段が、ある新しい一階級卽ちプロレタリア階級をしてその從來の經濟制度と全く利害相反した狀態、卽ち生存的危機の狀態に陷れる迄に到達して居るのを見る。この進化がある點にまで達した時に封建社會の絆を破つて新社會をもたらさんがために必然的に革新が到來する。それは恰も殼の中に生長して來た雛がその成長を續けんがためには遂にはその殼を破つて(〇〇)外界に出なければならぬと同じである。それと同じく人間の階級も社會進化の過程に於て新社會を現出し新しき文化を開拓してその生長を續けんがために、〇〇を必要とする舞台に到達する。(完)

註。原著は第一章で以上の如く概論した後に、更に又唯物史觀、剩餘價値說、階級闘爭說の三つを多くの引用書をあげて細說して居る。答の「　」內の分はマルクス、エンゲルスの原句其儘のもの。序文には單なる問答ではなく、系統的に小さく書いたものであることを斷つて居るが、私は便宜のため「社會主義問答」とした。

炎に炎をつみかさねよ

アネハ・ニジヲ

あゝ、俺には生の喜びを感ずる何ものもない。
ただ殘されたのはいつさい對する〇〇と〇〇と〇〇のみ。
俺はこれによりすがりながらわづかに險しい人生を生る暗黑〳〵！
ああ、つねに〇〇と〇〇とに呪咀の髓を燃かしながら、俺の軀は燃細る。
この搾こけた軀の中にやどるプロレタリアの眞理よ。
〇〇られ〇〇られたプロレタリアの眞理よ。
それが內部生命の實にふれるとき〇〇の血汐は全身にわき返る
心臟よ破邪の劍のやうに尖り暗鬱な胸に高く鼓動する。
おお、〇に〇をつみかさねよ、
〇〇な〇に〇をつみかさねよ！
全身の〇〇は青い焰の髮を振り亂し〇〇に〇ふて〇ね上がる、
ああ、虐げられた魂、〇みどろの生は死を越ねて〇〇に〇ね上がる。

虐げらる者よ。汝勞働者もその日から
　天上天下唯我獨裁？

〇

久萬やんと話したさにわかるみな
　電車に乘らず步みけるかな

溫情主義でゴマカしてると久萬やんが
　怒る新田の太き工場

〇

しばらくは猫を被りてゐませうと
　淋しく笑める友の姿よ

〇

キリストも釋迦も孔子も僞善者の
　頭目なりと罵れる友

逆襲

名古屋　畑山清美

星一つない暗黑の夜だ！
野をも山をもうづむる
幾萬とも知れぬ小羊の群は
恐怖にふるひながら
逃げ惑うた
今　貪慾にもゆる狼の瞳は
この小羊の群を射たのだ
あゝこの幾萬とも知れぬ小羊が
僅かの狼に
かくも苦しめらるのか

わ、しかし　見よ
血に燃ゆる太陽が
物凄い笑ひをうかべた時
小羊の青ざめた心臟は
一片の炎にザッザッと燒かれた

小羊の群は黑い一團となつて
物凄い唸りをあげ
おゝ今　狼に逆襲したのだ

黑い小羊の一團！
血にもゆるその瞳！
おゝ　太陽は
野をも山をも血みどろに照した

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

蓆旗を翳す人々

藤江生

人民國主の誅求に泣く

天明二年、越後國の人民は國主牧野家から突然御用金と稱して適當の金を出すべしと賦課された。命ぜられた金は之を二度に分かつて、半分はその年の中に殘金半分は翌年中に納めろとの嚴命である。人民は非常に當惑したけれども爲政家の命令は絶對である、申付に背くことはあだにも出來ぬ。封建時代の民は弱いものである、泣く〳〵半金はその年の中に滯りなく納めた、翌歳も若し天然が同じ恩惠を彼等に與へたならば、彼等は甘んじて無理な命令も果すであらう、けれども天は彼等に酷であつた。

天明の飢饉

翌くれば天明三年癸卯の年、滿天下は凶歉で全國は到る處飢饉なる凶作に泣いた。飢渇に迫る窮民は道途に充ちて、商業交通殆ど杜絶し果ては、名にしおふ新潟の港も一片の帆影をさへ認めない有樣である。米價は底を知らずに騰貴し金融の道もなきに至つた。斯して去年の約束の御用金も到底差出し難い事になつた。此當時、新潟の町を司どつてゐた池文右衛門と稱する代官は佞奸邪智の男で、人民の困窮等は固より念頭にない。彼は命令した御用金を取ればそれでよいのである。彼は遠慮もなく躊躇もせず部下の酷吏共を使つてドシ〳〵御用金を取立てる事に力めた。

町民は猶豫を願出で事情を訴へたが、聞き入るべくもない。若し不平を言へば一家は離散するより外に道はない、督促は益々峻嚴を極めた。人民は彼等の暴發を怨み酷薄を訴へた。けれども表面に立つては如何ともする術を知らぬ、金を納めなければ死よりも苦るしい破目に陷いらなければならぬ、でなくても飢て死なねばならぬ危機に際してゐる。

義人憤起す

爰に湧井庄五郎と稱する者があつた。德望が高く、萬人は彼を推して長者となし、何事も彼の指揮に從つたのである。彼は人民の窮狀を見るに忍びなかつた。一片正義の心は役人共の非道を憤らずには居られなかつた、彼は斷然新潟市民の憂患を根絶せんと密かに同志を叫合して事實を地頭に訴へ年金納時の延期を乞はんものと協議を凝らしたが秘密は直に洩れ易い。役人等が平素放つて居る密偵は此のことを知つた。騷動が持ち上つては自分等にどんな影響が來ぬとも限らぬ。庄五郎等の企ては反謀の野心であると奉行に告げた。此時の奉行石垣、佐野と言ふ者共も固より同穴の狸であるから讒言を容れ、庄五郎は忽ち召捕はれて獄屋に投込まれたのである。獄裡で日夜理非を分たず責めたてられた。

潮の如き市民一揆

新潟市民、先づ血氣の若者等は痛憤した。彼等の血は燃えに燃えた。吾々は役人を重んずればこそ穩かに嘆願せんとしたのである、然るに何の罪もない人民を獄に投込んで折檻するなれば最早默つて止むべきでない、默つて居ればどんなことをされるか判らない、事は已に止むを得ぬ。此方で從順にしてゐれば此先どんな目に遇ふかも分らない。いざこれより○○して○○○○の暴吏を懲し我々の爲めに思はぬ獄屋の月を嘆ずる湧井氏を救ひ出さんと、爰に數十人の徒黨を結束して手に手に獲物を執つて隊伍を整へ、一度にどつと鯨波を作つて、當れば碎かん勢ひ物凄く、潮の如く役所をさして詰め寄せた。

之を見るより奉行所では大いに驚き、不埓なる百姓共かなと捕手の同志を走向はせ、一揆を道に擁したが、血に猛る一揆の何で手易く退かう、死を怖れざる血氣の若者、權太郎、三四郎、善七なんどの猛者先頭に、捕手の人數見るより大いに怒り、各々獲物を縱横に打ち振つてワツと許りに躍り込んだ、此の勇氣に怖れて役人共の軍卒は右往左往に逃げ惑ふ。此時一齊にどつと許りに打ち出した鐵砲の音物凄

日本フエビアン協會の成立

■一月以來度々安部磯雄氏の宅に會合して協議してゐた日本フエビアン協會はいよ〳〵成立して五月から機關雜誌『社會主義研究』を出し始めた。その創立趣意書とも見るべきものが『發刊の辭』として同誌に掲げられてゐる。

『社會主義か空想として、取扱はれた時代は過ぎた。人類は今社會主義が主張する提案の採否を決すべき時機に臨んでゐる。故に我々はその提案を實行的方面に於て檢討しなければならぬ。而して我々は今後主として言論出版の方法により、その結果を公表する。

我々の態度は飽迄も研究的であると共に、合法的であり、漸進的ではあるが積極的である。

以上の理由により我々は新たに日本フエビアン協會を組織したのである。

我々はあらゆる社會主義思想に對して寛容であることを附言したい。同一の志向に立つものを徒らに異端視し、思想のためにその人を拒むが如きは我々の本意ではないからである。

我々は我々の協會を名づけるにフエビアンを以てした。然し我々は英國のそれとは何のかゝわりもない。まして、それの機

く、渦巻返る黒煙の裡より陣頭に馬を進め來つたのは彼の奉行石垣であつた。おのれ惡くき一揆の振舞かな、たゞ一時に追返せと烈しく部下に下知すれば、與力同心いざござんなれと答へつゝ、各々突棒十手を振り翳して馳せかゝつた。訓練のない一揆は先づ鐵砲の音に驚いた。驚ては恐れをなして逃げ去らんと動搖めく折しも一揆の中より黒裝束に身を固めたる一人の猛然と躍り出で、いかに方々おそれ玉ふな空砲なるぞ穴倒なるぞ進め、進め、と大音聲に怒鳴つた。

覆面黒裝束の鬪士

勝敗の機は瞬間の刹那である、此聲に勵まされて一揆の者共は取つて返し、再びどつと喊いて突進した有樣に、石垣も今は逃げ去つた。此體を見てより後陣に備へた佐野某は下知を傳へ、此上は到底空砲は埒明かず實彈込めよと奮鬪し、又もや鐵砲打ち出した。元より小勝のことやうち知らぬ一揆の者共は支へる法を知らぬ。何かわたまるべき先頭に立ちし權太、善七・七八人の勇士はバラバラと將棋倒しに打ち倒された。これはと驚き逃げんとする一揆の中より、再び現はれ出でたる覆面黒裝束の男ある、手早く人々を差圖して屋根に昇らしめ、薪をとつて篠つく雨の如くに役人目がけて投付け勢を盛返して追まくつた。薪の彈丸には佐野の人數も驚いた頭と言はず手といはず到る所に傷つけられて鐵砲を打つ暇もない中に得たりやかしこしと、一揆の者共は機を逸せず追撃した逃ぐるを追ふて代官の屋敷に押し寄せ、文右衛門を捕へ散々に打擲して、殆んど死ぬやうな目に遭はせ、これで少し滿足したと、又も恨みある役人ばらの家によせては片つぱしから無二無三に打ちこわして凡そ十餘軒を粉碎！凱歌をあけて引き揚げた。雲の何處に月宿る、明け易き夏の夜は白々と明けんとする七月二十六日の曉。

電光石火の働き

驕て青い日はまた明けた、一揆は何處へ散り失せたか影さへ見えぬ。暴風の跡は元の沈默に還つた。役所では此の間に重立つた者を捕へたら容易く鎮撫するだらうと發議した者もあつたが昨晩の失敗に懲て、誰も捕手に向ふ者はなかつた。あれだ是れだと評議の中に其の日も暮れて、施すべき術もなく夜の黑い幕は降りた。折柄四方に鯨波の聲は起つて再び一揆は押し寄せた。之を見て役人等大いに怒つた。さても惡き一揆原、此度こそ目に物見てくれんと、石垣は與力同心を左右に從へ太刀を揮つて喊いて突進した。此時一揆の中から、やあ物々しや木つ葉武士よと大音に躍り出したは何んだらう、黑裝束の男である。石火飛び、電光躍る。石垣と渡り合ふ黑裝束の腕前は並々でない、一歩又一歩、黑裝束は踏み込んで行く、と同時に石垣はしどろもどろに退いてゆく、今一歩進むと石垣は首と胴と離れる危機である。之を見た石垣の僕幸藏は私かにそこに進み出で黑裝束の男の後へ廻つた。主人の危急を救はんと物をも言はずに切つてかゝた。發止、あなやと見る間に石火の早業、幸藏は肩先より乳房へ切り下げられ血煙立てゝパッたり倒れた。

○○の活動功を奏す

危くも此の闇に石垣、馬を飛はして辛ふじて役所の門内へと逃れ込んだが後になつた佐野はあわれや逃惑つて、一揆のために取圍まれ生捕になつた。一揆の者共は悅び勇んで打ち殺せ、打ち殺せと叫いた。此時彼の黑裝束の男が民衆を制して、此處では吾々一揆の者は暴威を逞うして亂暴狼藉を好むと見られる慮がある。此男一人を殺しても此の事件は解決する次第であるまい。希望が達せられる譯でもないから命は助けてやる方が然る可しと言つた。そこで一同も成る程と首肯いて散々に打ち懲し半死半生の態として役所へ向けて追放した。斯うして一揆の勢ひは益々盛んになつた、四方から浪人共が集まつて來る。これを見た石垣は驚いて、獄中より庄五郎を引出し、其方の罪を赦し人民の嘆願も聽き屆けるから、兎に角騷動を鎮めよと言つた。

そこで庄五郎は元より事を好むのでないから承諾して、直に一揆の中に馳せ入りかくかくの次第であると事情を話した。一揆の者共も庄五郎が異情なく歸つて來たことを喜んで、庄五郎の諭しに服して、各自夫々自分の家へ歸つて行つた。これで初めて人民の主張が容れられた、市街は昔の靜謐に歸つた、平隱になつた。實力の爭ひで敗た役人は内心甚だ恐ろしいと同時に自分等の非違を覺つた、無理は到底通らないことを自覺して、彼等は爲政家たる本分を知つた彼等は倉廩を開き、又米や錢を人民に與へて救恤し、窮民を慰

倣では斷じてない。たゞ態度に多少の類似あると他に適當な名稱がなかつたから云に過ぎぬ。我々は我々の協會が將來わが社會の上に何等かの貢獻をなし得ることを確信したいのである。■なほ雜誌の外に單行本小册子の出版をも企畫してゐる。近くエデン・ポールの『プロレットカルト』(川原氏譯)が出版されることになつて居り、引きつゞきカーカップの『社會主義史』の全譯(直井氏)ピースの『フエビアン協會史』(新居氏)稻垣守克氏の研究『人種問題と社會主義』が出る筈になつてゐる。出版の外に講習會講演會を計畫してゐる。差詰め六月からは講習會を開會してゐる。最初の講演會は八九月の交、一週間許り開くことになつた。實際調査については目下準備中であるが、近く安部氏の計畫に基き、各大學生の應援を得て東京市の土地住宅、市營、交通の諸問題を調査研究することになつてゐる。

目下會員は三十餘名、こゝ暫くは會員の推薦で入會者を入れる申合せになつてゐる。會則は未だ別に決定せず、月に一回例會を催するだけである。事務所は東京市芝區新櫻田町十九山崎今朝彌氏方に置く。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

んだから人心も漸く平穏に歸して世の中は無事になつた。

忽ち檢擧初まる

此騒動は四方に響き渡つた、終には本城長岡の耳にも這入つた。之を聞いた國主牧野家では大いに驚いた。これはすてゝおかれぬ大事である、遂に兵を馳せて一先づ鎭撫し有利の決斷を其の後にしなければならぬと急に家老某は士卒を引率して夜を日に次いで大急行で新潟に出張した。

けれども援兵の到着した時は已に一揆の收まつた後であつたから再び兵火を見なかつた。軈てそれぞれ係の役人を新潟に出張せしめて、一大檢擧を始め續々關係者を引致して、犯罪の糾問を開くことになつた。

あわれ義人等の覺悟

此の時に涌井庄五郎は勿論始めより覺悟して居たことであつたから、少しも遁忌する所なく今度の事件を最初から自分一人生命を捨て、、新潟の人民を救はんとしたものであるから其罪は誰でもない、皆自分一人に歸すべきである。○○を企て官兵に對抗したのも、皆自分一人の指揮に出でたもので他に首謀者はない。首謀者は自分であるから當然一人で全責任を負ふべきであつて、餘の人は唯だ自分に附隨して事を擧げたに過ぎないのであるから、何卒助命して貰ひたいと彼は言つた。自分の仕事の失策も他人に塗り付けるのが普通の人情である。人を胡麻化しても自己の榮達を計り度い、富も欲しい、名譽も欲しい、位もあれば猶結構である、然し何をおいても大事なは命である、生きる爲めに生れて來た以上は如何なることがあつても生きたいのは已むに已まれぬ人間の本能である。自己の惡業が我が身に反り惡德を重ねた果てが、獄屋に首を刎ねられるまで生きんと願ふのは今も昔も變らない。然も自己のした罪に對してすら然りである。他人の罪まで自ら己に引受けて眼前に死を見て平然たる人は、人にして既に神域に入つてゐる。死後百年の名は生前一杯の酒程に感じないのが世の常である。死を見ること歸するが如しとは、言葉で簡單だが目のあたり死を見る時未練のない人が幾人あるであらうが。死んだ後には名譽が殘る、名譽のために死ぬだらうと思ふのは間違ひである。死んだ先の名譽迄考へて居る者は死なれない、義人の死は此の意味に於て深刻である。市井俗人の死に於ても彼等が紛糾したる諸種の事情よりて死ぬことがある、僅かの金で死ぬ者も少くない。けれども少くとも死は眞面目である、惡戯に死ぬ者は古往今來一人もない俗人の死ですら深い根底がある況して古今幾多の偉人、哲人、義人の死に至つては崇高偉大なる或る物が根底をなしてゐる世人は是等の死を餘りに簡單に解釋してゐるのである。

○○の最期

庄五郎と同時に須藤左次兵衛も自ら名乘り出た、此の如く大事を仕出來したことをどうして庄五郎一人に歸することが出來るか、他人に罪を委ねて拱手傍觀は彼れの忍ぶ能はざる所であつた。自分の此度のことは萬人のために正義の爲めに發頭人となつた。そこで今度の事變は此兩人の罪科なりと決定して兩人は縛りのまゝで長岡本城へ引立てられ同地の獄に繋がれた。

たゞ一揆中の黒裝束の人間こそ誰であらうか、彼は五賀野右衛門である。役人共は彼を最も惡くんだ、已に二人の罪を負ふて獄に下つた者があるにかゝわらず、彼も亦捕はれて獄に下り遂に牢死した。斯くて涌井、須藤の二人は久しく獄に繋かれて屢々糺彈を受けたが、二人は斷じて屈せず、飽迄も公衆の罪を一身に引受けて他に累を及ぼすやうな言語を吐かぬ。そこで遂に二人の罪は全く決まつて、天明の年甲辰のある日二人は死罪を申渡された。固より覺悟の身であるから、毫末も怖るゝ所がない、各自若として斷頭臺の露と消へた。

縁も由縁もない他人でも死んだと聞けば憐れを感ずる、身を殺して仁をなした人間の死が偉大な感化を人心に與へるのは當然である。彼等の死が獨り新潟のみならず、當時の爲政家の心理と人心の情緒に與へた感銘は強烈であつた、爾來新潟の民は幸福な日を送り得るやうになつた。町役人共の壓迫は職を奪はれ、譴責を蒙り、或は死罪に又は蟄居放逐等、夫々嚴重に處分された。此の結果御用金のことも沙汰止みとなつた。

○時の潮は凡てを○する

春風秋月、幾世を經た後、世の中は滔々と相率ゐて輕佻となり、浮薄となつた。人々の眼中には利己の外何物もなくなつた。凡ては黄金に因つて判斷される大聖は市井に隱れて物質萬能の世界を現じた、朝の友は夕べの敵、利のある所は相集まり、損ある所は相離れた。眞人は排斥され、義人は嗤はれ、富貴と權勢が獨り天下に驕つた。

煉瓦で築きあげられた文明は破壞されて、人間の世界はノア以上の大洪水を目のあたり見た惡を滅すべき洪水だと豫言者は云つた、凡ての物は流されて人間の歴史は新に書かれなければならぬ。世界滅却の日まで永劫に滅ぶる期がないとは誤りである。時の潮は凡てを送り、時の潮はすべてを破壞する。此の潮流に逆行するものは悉く滅亡する。潮、潮、赤色の潮が押しよせて來たと批評家は謂つた。流れて行く舟の破片が逆く漂つてゐる。○○の潮に逆つた者の末路であると、批評家は付け加へた。

×　×　×

此の潮が流れ流れて普く六合に行き渡つだ時、匹夫は祭られて神となる。それ迄はこの世に義人が出なければならぬ、隱れたる多くの義人が出なければならぬ。凡ゆる義人の出現を要せざる時、それは赤色の潮が世界に充ちた時である、有名と無名の一致する時である。平凡なる偉大の時代である。涌井庄五郎は此の時代を作るべき一分子である。須藤佐次兵衛も亦一原動力である。此の意味に於て犧牲者の死は千古に不滅である。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

監獄案內（三）

福田狂二

懲罰の研究

監獄に懲罰がある。監獄內の規律を破つた者に科するものである。此の規律とは話をするとか仕事を怠けるとか人と喧嘩をするとか役人に抵抗したりなどする氣の強い囚人に科する獄則である。此の規律に反する事を監獄では反則と云ふ。看守が此反則を見付けた時は受持看守長に報告して典獄が適當な罰を科する事になつて居るが實は受持看守長が大底取極めるらしい。此反則の取調は典獄が行つてそして典獄自ら罰を科するのが適法だが、何處の監獄では戒護主任看守長が取調べて典獄に報告してそして戒護主任看守長が懲罰を宣告する。しかし小菅監獄では有馬典獄自ら調べて自ら宣告する。そして有馬式は殆ど懲罰をつけない。同氏は懲罰を無用のものとして德を以て監獄を治む。囚人は神のやうに尊敬して居る。

懲罰は初犯、再犯、三犯、年齢、其の人の職業、人格等を斟酌して科する、或人は何べん反則をしても懲罰を付けない事がある。懲罰を付けても○○で居る○○なる囚人に對しては○○○○けない。近世の監獄では人によつて刑を行ふ事な、て居るから懲罰も又此主義に基いて人に依つて異なりてゐるさて懲罰は什麽ものがあるかと云ふと叱責から重屏禁まで十二通りある。

一 叱責

は一番輕い罰で過失などに科する事になつてゐる。

二 優遇三月の內禁止

囚人で行狀が良くて悔悛の情顯著なる者には賞表と云ふものを與ふ、獄衣の左腕の上に白い一寸四方の布を付けてゐる、これが假出獄の條件にもなるし、又平生は着物の新しいのを着させたり、手紙面會が一回餘計に出來る。亦一週間に一回宛魚か肉菜か食はれる。自分の好む作業に就く權利も與へられてゐる。この賞表の特點を三ケ月以內停止される懲罰である。

三 賞遇廢止

賞遇廢止は前の停止より重い反則をした時に處せられる懲罰である。

四 文書圖書三ケ月以內の禁止

は書籍を見る事の出來ない懲罰である。

五 請願作業の十日以內の停止

は禁錮囚に多い。禁錮囚は作業をさせられない事になつて居るそれが退屈で困まつて仕事をさせて呉れと請願する、此の請願作業停止をする罰である。

六 自辨に係る衣類臥具著用の十五日以內の停止

是は未決囚に適用すべき懲罰であつて自分の蒲團や着物の着用を禁ずる罰である、

七 糧食自辨の十五日以內の停止

は未決囚が差入れ辨當を食つて居るのを禁ずるのである。

八 運動五日以內停止

監獄は健康を保つ爲に一時間以內の運動をさせる。是を禁ずるのだが進步した頭腦を持つて居る典獄は此の懲罰はアマリ使つて居らぬ。

九 作業賞與金計算の一部又は全部減削

是は仕事の口錢の一部や又は全部を取上げる懲罰であつて短期囚の者は何とも思はぬが長期囚の者になると五百圓千圓と溜つて出獄後何かのタシになると考へて居たのであるから是れを取上げられたのが一番苦痛である。此の懲罰は長期に一囚番重い恐ろしい懲罰である。

十、七日以內の減食

は三度の食物は二分の一又は三分の一に減らす事で、監獄では此の懲罰が一番多く用ひられて居る。此の減食を科する前に目方を量る、滿罰後又目方を量る、減食されると大抵目方が減る。そして囚人は是を見て恐怖する大抵二日か三日、長いので五日位、何處の監獄でも此の程度でやつて居る。私は嘗て二日の減食を科せられたから十一日ハンガーストライキをしてやつた。それでも目方は減らず、二十匁ばかり增して居つた。それから或る掏兒の親分は減食を二日食ふと二百目增ゑる、四日食ふと四百目增ゑる奇體なる肉體の持主もあつた。減食を恐れる者は意氣地の無い卑怯者サ、語るに足らず。

十一、二ケ月以內の輕屏禁

是は監房から出して小さい檻の中へ入れて置く、概ね仕事をさせない事になつて居る。私も百二十日ばかり此處で暮した事がある。囚人の氣の強い人達は是を監獄の別莊であると云つて居る。

十二、七日以內の重屏禁

は俗に監獄の暗室と云つて社會の人が恐ろしがつて居る、舊式の監獄では光線の少しも入らない眞暗な所に入れて置く、そして大抵減食が伴つて居る、出た時には眼がくら〳〵な。大抵革の手錠を嵌めさせて此暗室の中に投込むで布團も與へない、而し明治四十年以後に出來た監獄では此罰室も眞つ暗でなくて薄暗い室だ。是は佛蘭西式の罰室だそうである。此の重屏禁が一番重い懲罰だがそう大したものでもない。私は監獄の怒れ方が少かつたのでタッタ一回しか入らなかつた、それは暑い時に典獄を毆つて入つたので私は一週間ばかり避暑して晝寢して來た。そして文天祥を思ふた、白蓮の思ふたそして心境を徹すれば牢獄も飴の如しと大悟した。折角監獄へ來て懲罰を食はないのは未だ眞に洗禮をうけたと云へない。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

於編輯室

讀者諸君に

■支局の發表は中止した、理由は反動的社會主義者が流言蜚語を放ち支局を惑し、官憲が迫害するからだが益々支局は殖へて總計二百十有五、發行部數も思想雜誌として世界有數の雜誌となつた。

■進めに廣告を出してゐる商店へ「進めは非國民故に廣告を出すな」と妨害した、反動的社會主義者が居る、何れ發表する。

■支局及讀者の宅に似而非社會主義者が廻つて行つて、金錢を強要したり、種々な下らぬ事を言ふ由。こんな奴が來たら叩き出して了へ彼等は犬だから。

■今後社會運動を堕落せしむる者の原稿はたとへ有名なりとも一切載せぬ彼等は我が進めを穢す者なればなり。

■吾人はロシヤ〇〇黨がなせる黨内の大掃除を〇〇〇〇〇せんと欲す。

■過日地方の同志來りて、吾等を激勵せり、曰く「取締法案出でず此際内部の不純分子を排除し、以つて陣營を固めよ而して敵に肉彈せよ」と。忠實なる同志諸君はこれを思ふて止まざるなり。

■「進め」社に於いて、七月より第一、第三日曜日に進め文庫の公開並に讀書會をする。又都合で研究會もやるつもりだ。市内及び近くの讀者は成る可く多く來社を乞ふ。

■多分九月からやる事になるであらうが、本社近くに進め社道場を開設する擊劍柔道銃劍術を教へる師範は私の先生である小野翁七十三才の高齢を以て教授さる、事となつて居る。翁は擊劍は内藤高治の上に出づ、柔道は起倒流のうん奥を極め、嘉納などの遠く及ぶところに非らず。眞劍の仕合ひに到つては正に天下一品だ。而して寶藏院の槍術は今日本に於て翁のみ此人、老いたりさいへども新思想家なり。闘士は來りて未來社會の建設者たるべき其等き身軀を鍛へよ。讀書ばかりして肺病となる勿れ。誰かゞ言つた偉大なる事業は偉大なる身体に宿るさ。（福田）

東京通信

■今度こそは、愈々座談會を始めることになつた。場所は、赤坂の東京編輯所石川準十郎君の骨折りで久嘉、坂、春田の三君が、新手さして吾人に馳せ加はつたので大いに賑かである。地方の讀者諸君にはチト氣の毒だが、東京の同志諸君は大いにやつて來て呉れ玉へ。ふだんの日も、暇の折り、立ち寄つて呉れ玉へ。

■地方の讀者諸君からの書通かお便りに答へます。小牧近江君は目下海外へ。それから岡陽之助君は僕の同体同心の親友で、編輯室の大きな机の前に朝から晩まで坐り込んで、「默りこつくて」底年平氣な顔を動かして居る。兩君さもに、頗る健在だから安心を乞ふ。

■「進め」をいゝものにしたいために編輯で、よくない所さかその他種々の注文を遠慮なくハガキか何かで云つて戴きたい、もとより片々たる高の知れた小雜誌で、滿足なごはさても期し得られないが、それでも萬分の一位は、どうにかなるかも知れない。

■進め社では、從來のゴタ／＼の整理が出來て、新陣容がさゝのつた。がその新しい編輯方針は殘念ながら七月號へは充分に反映させ得なかつた。毎度、次號から／＼で恐れ入るが、次號八月號からは本當に完全に面白一新の「進め」を御らんに入れる。

■「進め」の御注文の方は、多少に拘はらず、大阪本社の發送係の方へ願ひたい。僕の所には毎號一二冊しか殘らないのだから。

■「投稿」は大いに歡迎する。が取捨は僕等に托せて呉れ玉へ。（岩淵生）

會計係より

一、誌代に關する問合せ、雜誌注文に際しては必ず封書に會計係さする事

二、會計係の用件は一切個人宛にせぬ事。

三、本誌は集金郵便を一切取扱はぬ事を承知して貰ひたい。

四、住所姓名は明瞭に記す事。

五、時々姓名だけで住所も記ろさずに送金して來て來月號から送本してくれさか云つてくるがこんな不得要領な事に度々惱まされる。成可く苦しめない樣にして貰ひたい。

六、パンフレットの注文は大分あるが只今全部品切れになつて再版印刷中だから出來上る迄待つて貰ひたい。

七、見本注文の方は一部十錢を要す。

八、誌代拂込は可成振替で振替の都合の惡い者は五厘及一錢五厘の切手を用ひ振替の裏には用件を明記する事

■進め社は最近東京に於て新しい同人三人を迎へた。早大社會主義團体系の久嘉晋二君、帝大社會主義團体系の坂元君、慶大社會主義團体系の春田正作の三君である。

■久嘉晋二君は最近早大の社會主義思想團体の活躍さは離して考ふることの出來ない代表的人物である。彼は何となく十九世紀のロシヤの大學生の陰慘悲壯さを想像させる人物である。彼には親友の間に一名「探偵長」の仇名がある。出沒自在よく敵味方の住所及び情勢を知つて居るからである。頭腦緻密で豪膽、性格不撓不屈、私の常に尊敬して惜かない人物である。

■坂元君は、早大に於ける久嘉晋二君と同樣に、帝大に於ける社會主義團体の最近生んだテピカルなインテリゲンチャである。秀才肌の感のある人物だが一方又非常な熱情家であると聞く。佐野學氏同樣に社會發達史を得意とし、次號から「維新の社會運動史」を執筆する筈である。

■春田正君は慶大社會主義團体の隱れたる領袖である。中學時代柔道の御大として勇名を轟かした由で、其後止めたが既に四段の實力はあると云ふ噂である。一見志士風の人物であるか、頭腦明析識理に固くマルキシズムの研究に深い。

■私は次號からこれらの諸君と共に「進め」の同人として活躍することを心から喜ぶ。

■尚次號からは早大教授であり私の恩師である、大山郁夫氏及び其内弟子たる三德氏も執筆下さる筈である。（石川準十郎）

■御寄稿家諸氏に厚く御禮申上げます。今月號には、山川均氏、麻生久氏、行政長藏氏、島中雄三氏等が御執筆下さる筈でしたが爭議や其他止むを得ぬ事情で間に合ひませんでしたが來月號には載せられる事と思ひます。（係）

半月刊 勞働者新聞（一部五錢）
大阪市北區西野田江成町 勞働者新聞社

月刊 土地と自由（一部十錢）
大阪市北區西野田江成町三四四 日本農民組合本部

月刊 「選民」（一部五錢 郵稅五厘）
大阪市南區西濱北通三丁目 選民社

鑛山勞働者（組合外一部二十錢）
東京市芝區三田四國町 日本鑛夫總同盟本部 振替東京五〇五八五番

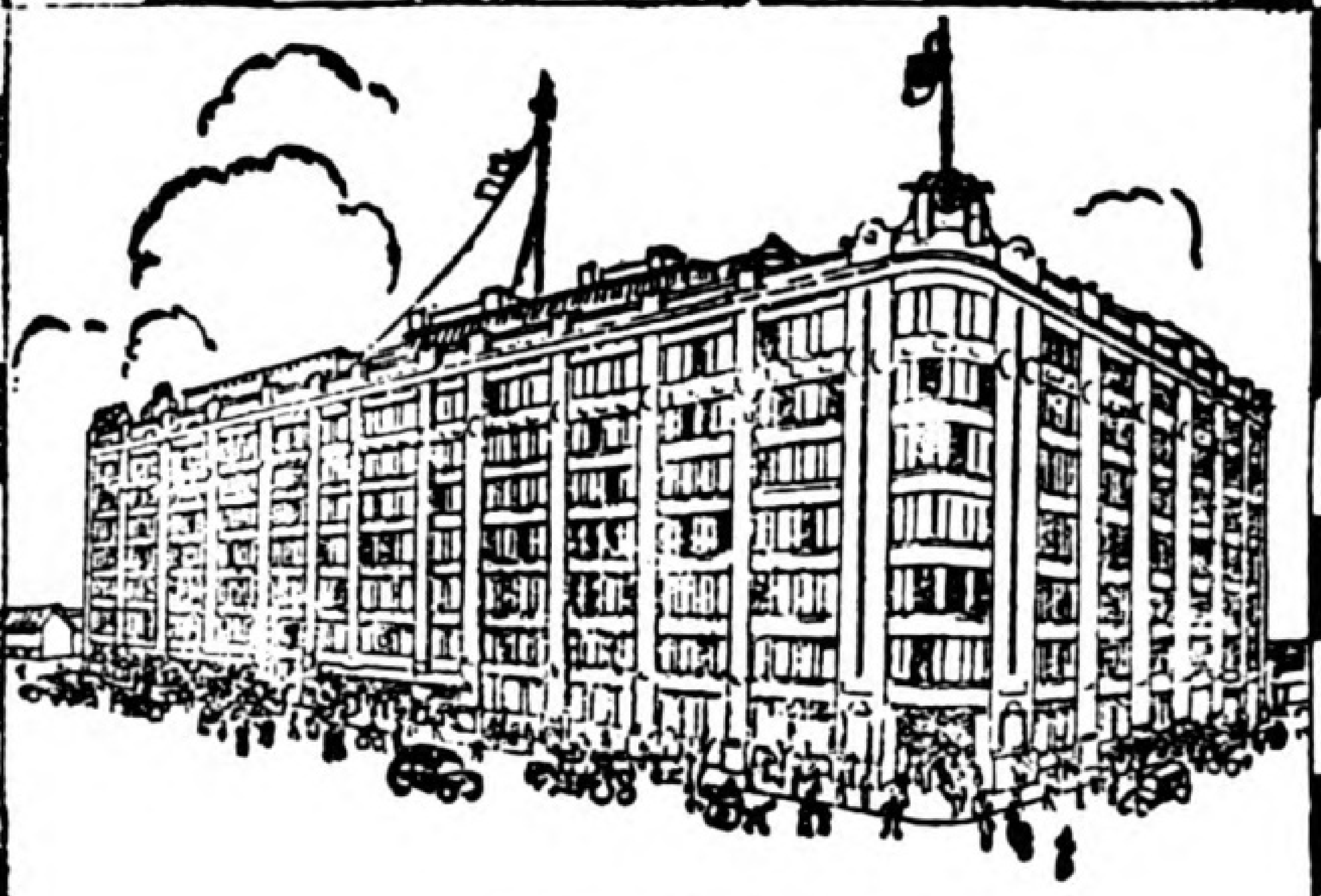
事業一般
社會問題研究、調査、出版、講演、各種社會主義、勞働問題雜誌、新聞、パンフレット、取次販賣
神戶社會問題研究所 神戶市水笠通三丁目二ノ九五今吉一雄内

月刊 婦人と勞働（一部三十錢）
東京市外西巣鴨町一〇一九 職業婦人社 振替大阪六四一六〇番

月二回 農民新聞（一部五錢）
鳥取縣米子町角盤坂角 農民組合山陰聯合會

月刊 自由論攻（一部三十錢）菊判八十八頁
東京市小石川區指ヶ谷町三十二

勞働組合のすゝめ 一部十錢
岡山市七軒町二十二 岡山勞働組合



三つの優越點と
三つの誇りと

三越の商品は、品質の優良さ、量の正確さ、そして値段の低廉といふ三つのいつも異らぬ優越した點を持つてをりますのみならず、常に斬新と、實用と、趣味の三つの特長を誇りと致してをります。何卒十分御吟味の上多少に拘らず御用命の程偏に希上げます。

◇地方よりの御註文は御手紙にて「通信販賣部」宛に願ひます。叮嚀迅速に御調達申上げます。

大阪

三越呉服店

◎營業科目

一、木材防腐作業

一、木材防腐請負

一、木材防腐防蟲劑

クレオソリユム製造販賣

大阪市東區瓦町一丁目五十五

東洋木材防腐株式會社

電話本局長二〇二番

二〇三番

振替貯金口座大阪一三一二六番

仁は人の安宅なり

義は人の正路なり

金 銀

白金

東京市神田區松田町

徳力本店

本社 大阪市北區堂島濱通

福徳生命保険株式會社

電話 局北二一九〇

北一五六〇番

北一一一五

大正十二年一月三十日第三種郵便物認可 每月一回 定價一部十錢（郵稅五厘） 發行所 大阪市外鷺洲町海老江一〇七八 進め社

解決！

輸入防止
輸出促進

其の解決として品質外國品以上のユニオンビールをお召し下さい

國産麥酒ユニオン

猪印のみどり粉

安住かとり線香

品質優秀
効力卓越せる商品の製造に不斷の奮闘を繼行す

製造本舗
株式會社 安住大藥房